

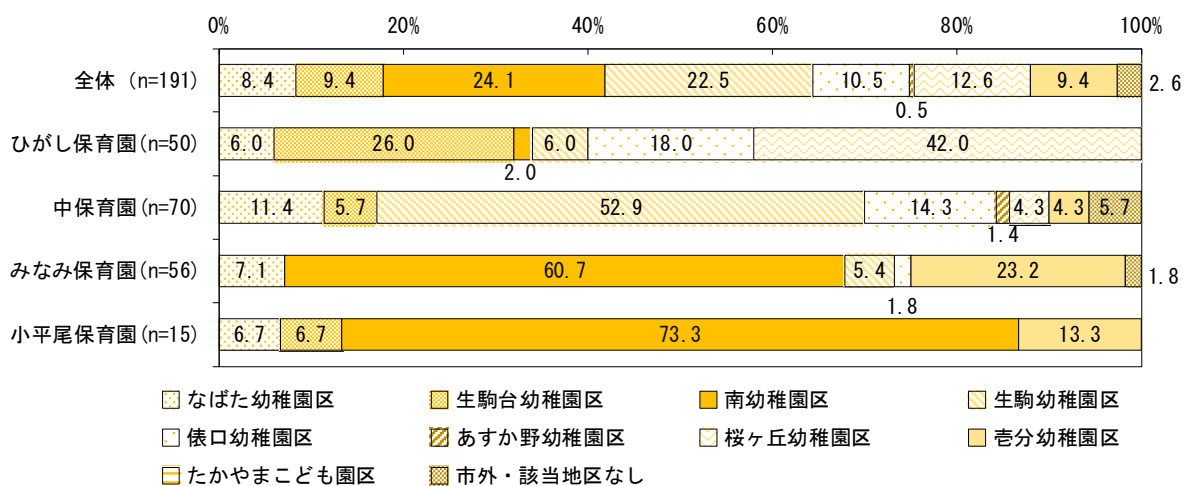
2 公立保育園園児保護者向けアンケート調査結果

お住まいの地域

お住まいの地域について、全体では「南幼稚園区」の割合が 24.1%、「生駒幼稚園区」の割合が 22.5%、「桜ヶ丘幼稚園区」の割合が 12.6%、「俵口幼稚園区」の割合が 10.5%、「生駒台幼稚園」と「壱分幼稚園区」の割合が 9.4%、「なばた幼稚園区」の割合が 8.4%となっています。

各保育園では、保育園が所在する通園区域内にお住まいの方が多い傾向にあります。

■ 園児（保護者）の居住地

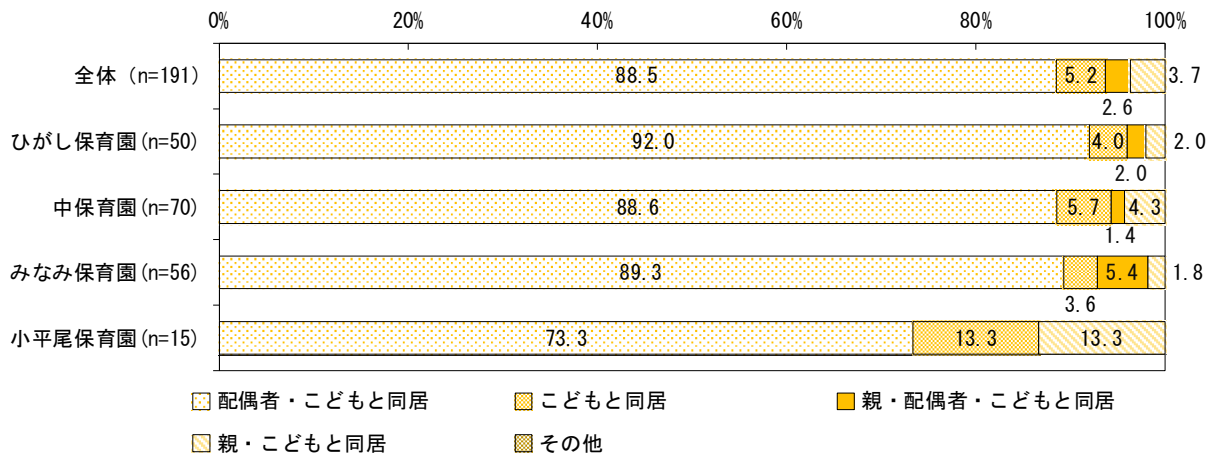


家族構成

家族構成について、全体では「配偶者・子どもと同居」の割合が高く 88.5%となっています。

小平尾保育園では「子どもと同居」「親・子どもと同居」の割合が、全体と比べて高くなっています。

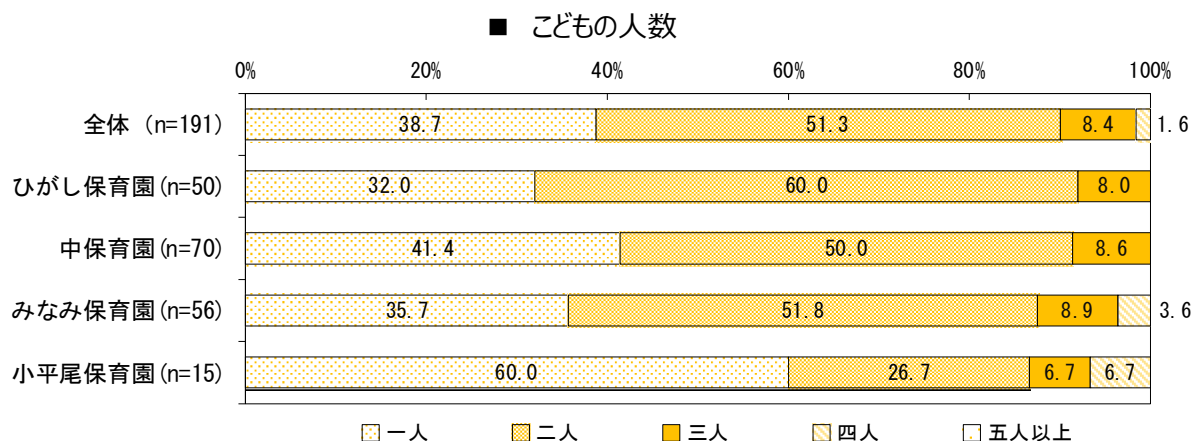
■ 家族構成



こどもの人数

こどもの人数について、全体では「二人」の割合が 51.3%と最も高く、次いで「一人」の割合が 38.7%、「三人」の割合が 8.4%、「四人」の割合が 1.6%となっています。

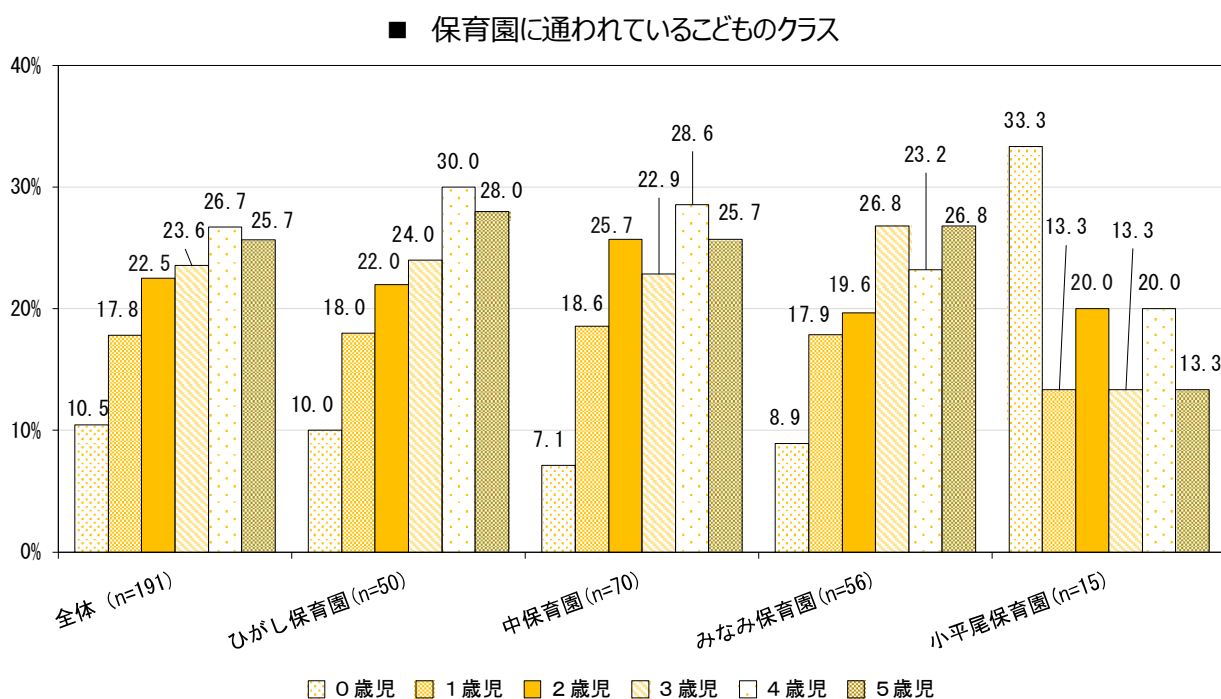
ひがし保育園では「二人」の割合が、小平尾保育園では「一人」の割合が、全体と比べて高くなっています。



保育園に通うこどものクラス

こどものクラスについて、全体では「4歳児」の割合が 26.7%と最も高く、「5歳児」の割合が 25.7%、「3歳児」の割合が 23.6%、「2歳児」の割合 22.5%、「1歳児」の割合が 17.8%、「0歳児」の割合が 10.5%の順となっています。

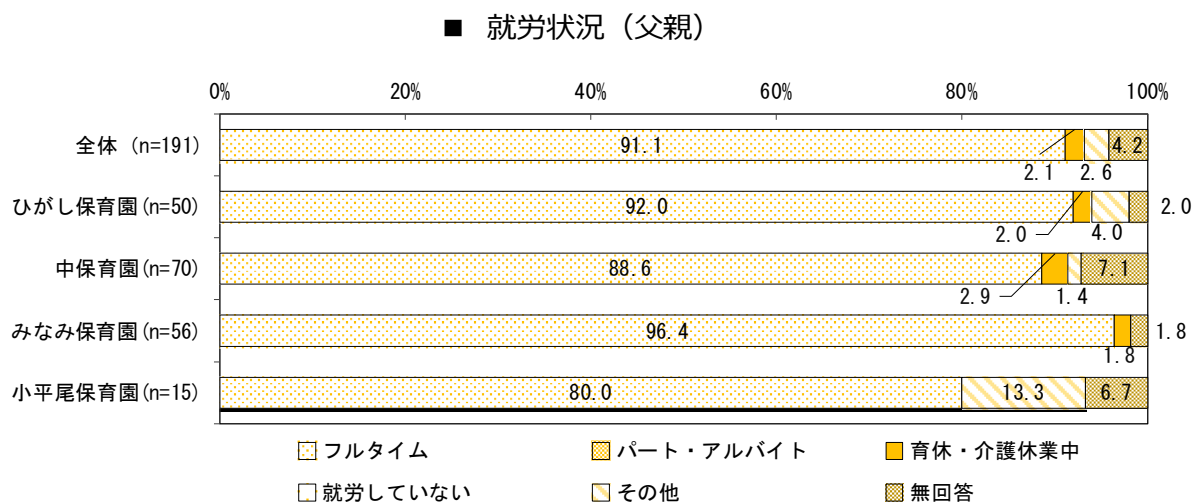
小平尾保育園の「0歳児」の割合が、全体と比べて高くなっています。



就労状況

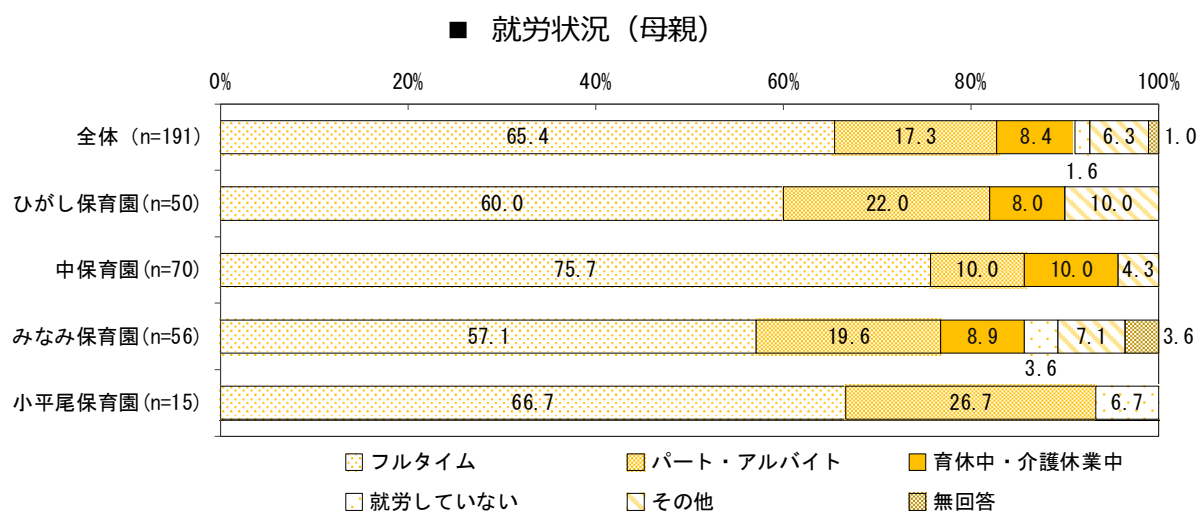
父親の就労状況について、全体では「フルタイム」の割合が 91.1%、「育休中・介護休業中」の割合が 2.1%、「その他」の割合が 2.6%となっています。

みなみ保育園では「フルタイム」の割合が、小平尾保育園では「その他」の割合が、全体と比べて高くなっています。



母親の就労状況について、全体では「フルタイム」の割合が 65.4%と最も高く、次いで「パート・アルバイト」の割合 17.3%、「育休中・介護休業中」の割合が 8.4%となっています。

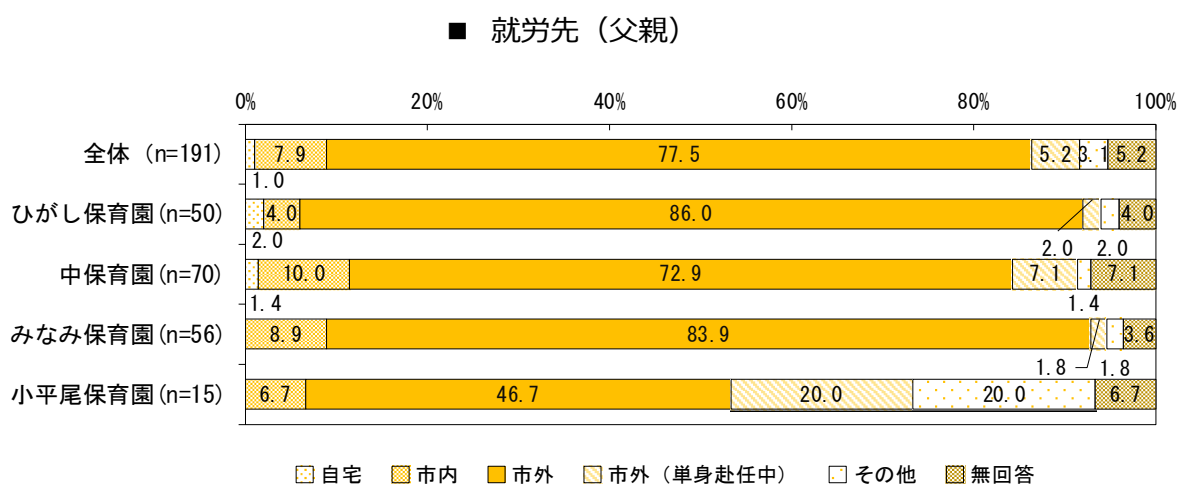
保育園別でみると、中保育園では「フルタイム」の割合が、小平尾保育園では「パート・アルバイト」の割合が、全体と比べて高くなっています。



就労先

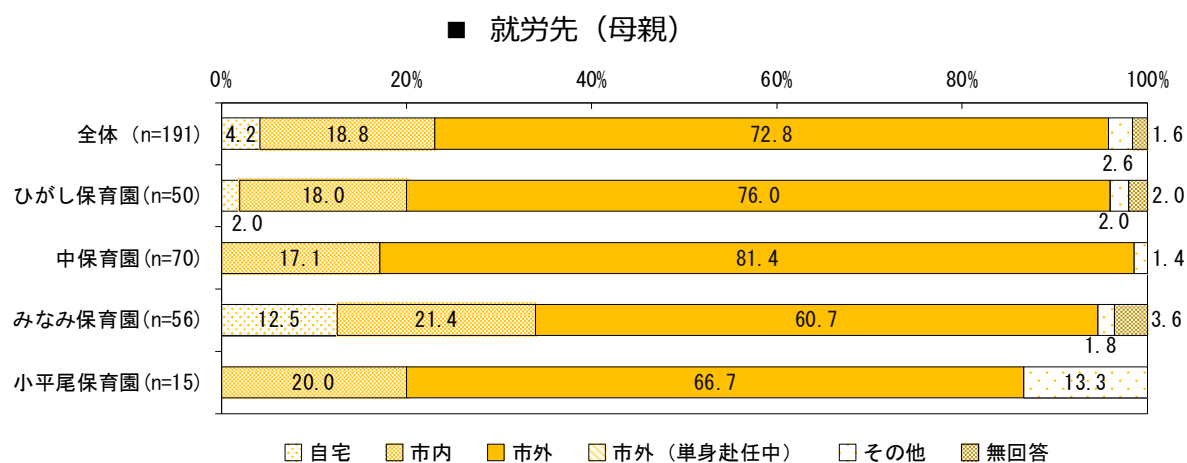
父親の就労先について、全体では「市外」の割合が 77.5%、「市外（単身赴任中）」の割合が 5.2%となっており、市外で就労している人が8割以上となっています。

小平尾保育園では、全体と比べると「市外」の割合が低く、「市外（単身赴任中）」と「その他」の割合が高くなっています。



母親の就労先について、全体では「市外」の割合が 72.8%と最も高く、次いで「市内」の割合が 18.8%、「自宅」の割合が 4.2%となっています。

中保育園では「市外」の割合が、みなみ保育園では「自宅」の割合が、全体と比べて高くなっています。



入園時に見学・検討した施設（※公立保育園以外）

見学・検討した施設について、全体では「私立保育園」の割合が 54.5%と最も高く、「公立認定こども園」の割合が 51.8%、「私立認定こども園」の割合が 34.0%で、保育園の機能を持った施設の割合が高くなっています。

■ 見学・検討した施設

	合計	公立幼稚園	私立幼稚園	私立保育園	公立認定こども園	私立認定こども園	特になし	その他
合計	191	14.7	5.8	54.5	51.8	34.0	18.3	1.0
ひがし保育園	50	18.0	4.0	56.0	40.0	36.0	22.0	2.0
中保育園	70	10.0	4.3	62.9	45.7	34.3	18.6	0.0
みなみ保育園	56	17.9	8.9	39.3	62.5	30.4	17.9	1.8
小平尾保育園	15	13.3	6.7	66.7	80.0	40.0	6.7	0.0

※無回答は0人でした。

公立保育園を選んだ理由のうち重視した点

重視した点について、全体では「自宅から近い」の割合が 73.3%と最も高く、次いで「給食の提供がある」の割合が 34.0%、「延長保育を行っている」の割合が 24.1%となっています。

■ 公立保育園を選んだ理由で重視した点

	合計	自宅から近い	金銭的負担が少ない	延長保育を行っている	乳児保育を行っている	土曜保育を行っている	給食の提供がある	兄弟や近所の子がいる	生活習慣が身につく
合計	191	73.3	23.6	24.1	9.4	11.5	34.0	7.9	4.7
ひがし保育園	50	76.0	24.0	22.0	8.0	6.0	32.0	14.0	6.0
中保育園	70	68.6	21.4	37.1	11.4	15.7	34.3	4.3	4.3
みなみ保育園	56	75.0	23.2	10.7	5.4	14.3	37.5	7.1	3.6
小平尾保育園	15	80.0	33.3	20.0	20.0	0.0	26.7	6.7	6.7

	合計	行事等による地域との交流がある	評判が良い	先生の対応が良い	保育・教育内容がよい	保護者同士の関わりができる	小学校と連携している	特になし	その他
合計	191	1.0	7.9	11.5	6.8	0.5	2.1	2.6	11.0
ひがし保育園	50	0.0	4.0	6.0	6.0	2.0	2.0	4.0	14.0
中保育園	70	1.4	10.0	12.9	8.6	0.0	1.4	2.9	15.7
みなみ保育園	56	1.8	8.9	16.1	5.4	0.0	3.6	1.8	5.4
小平尾保育園	15	0.0	6.7	6.7	6.7	0.0	0.0	0.0	0.0

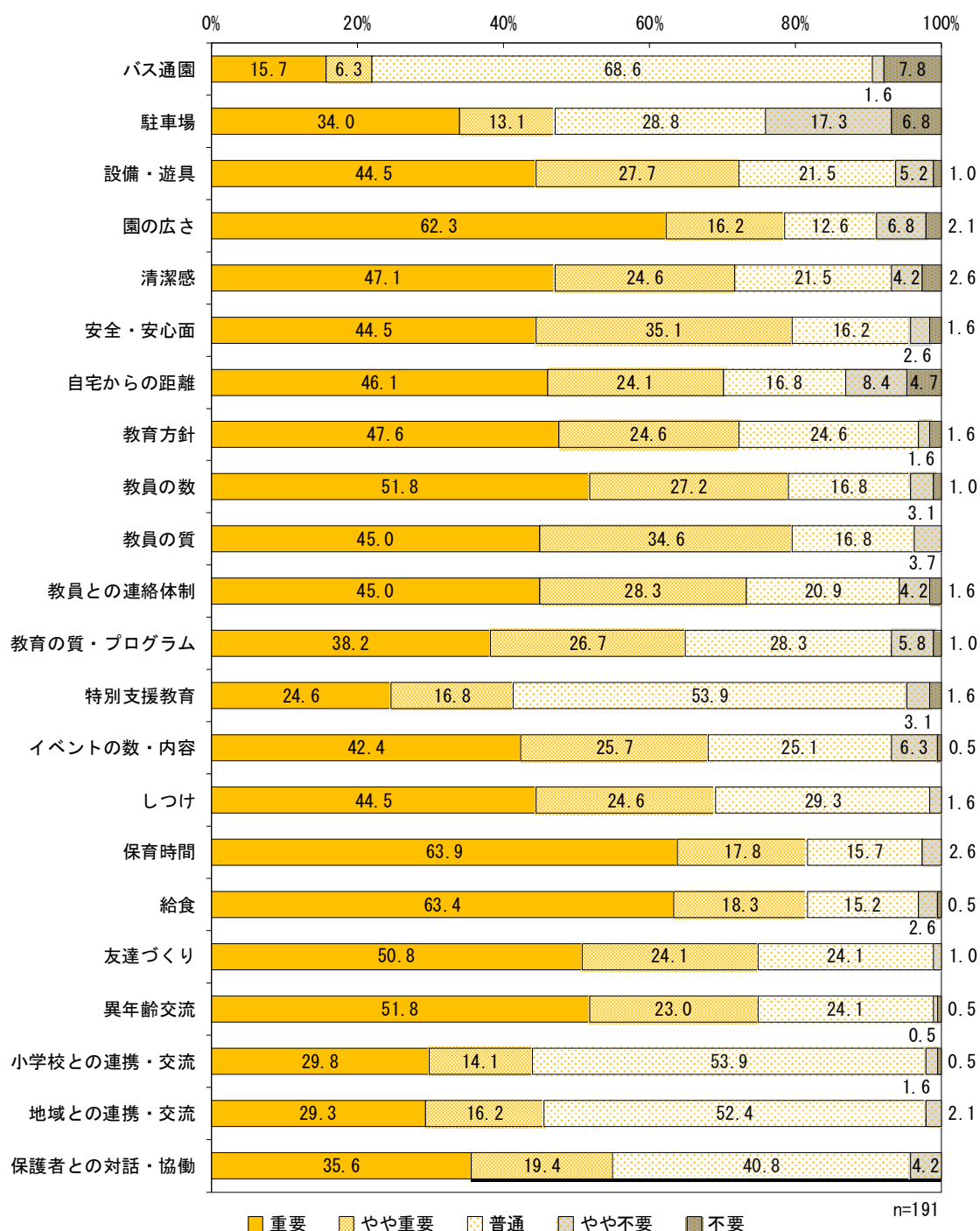
※無回答は0人でした。

こどもが通う園の満足度と重要度

通われている園の現在の満足度のうち「満足」（満足＋やや満足）について、「保育時間」「給食」の割合が共に81.7%と高く、次いで「安全・安心面」「教員の質」の割合が79.6%となっています。

その一方で「不満」（不満＋やや不満）については、「駐車場」の割合が24.1%と最も高く、次いで「自宅からの距離」の割合が13.1%、「バス通園」の割合が9.4%となっています。

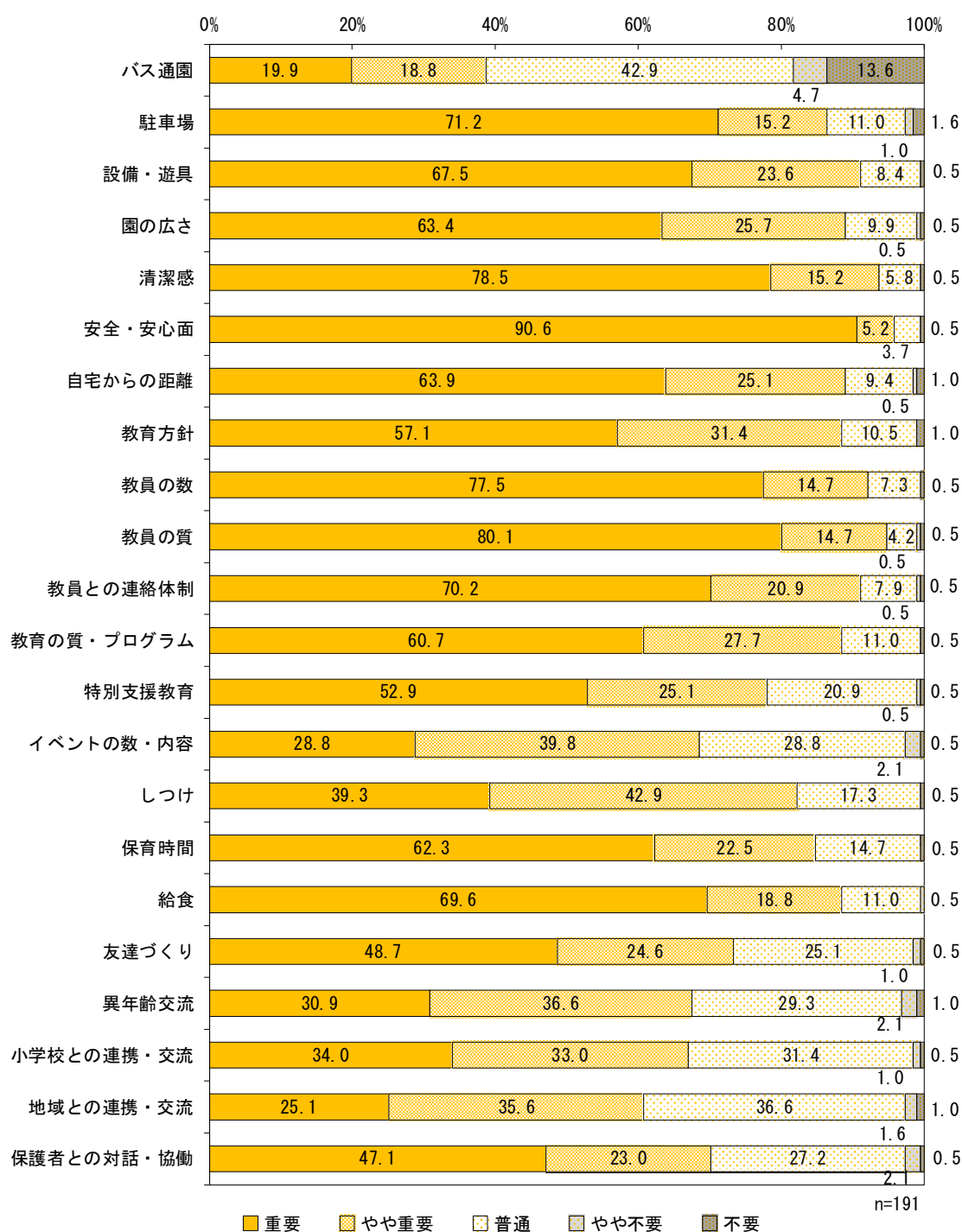
■ 通われている園の満足度【全体】



園の将来の持続的な運営を行うための重要度のうち「重要」（重要＋やや重要）について、「安全・安心面」の割合が 95.8%と最も高く、次いで「教育の質」の割合が 94.8%、「清潔感」の割合が 93.7%となっています。

その一方で「不要」（不要＋やや不要）については、「バス通園」の割合が 18.3%と最も高くなっています。

■ 園の持続的な運営を行うための重要度【全体】

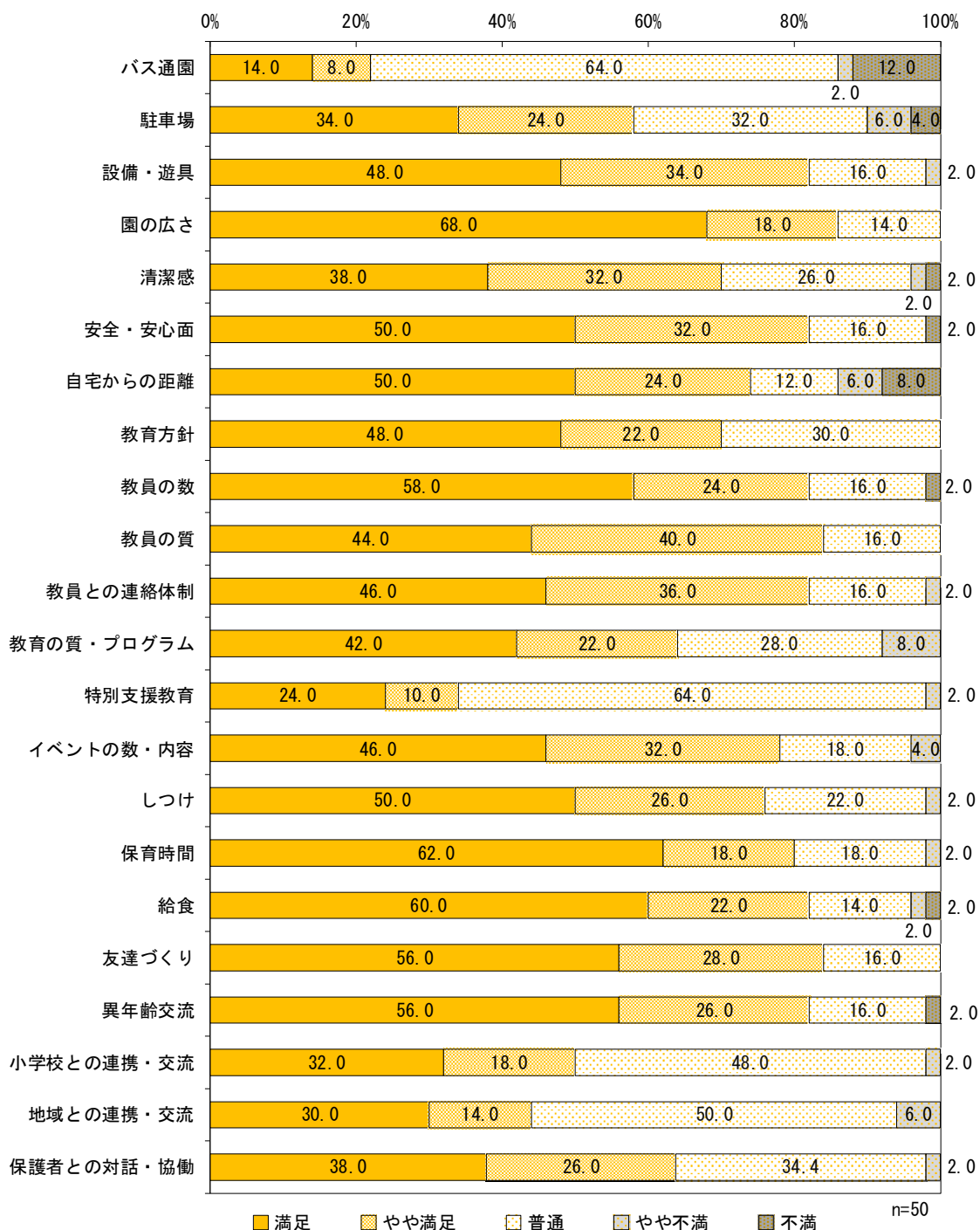


(1) ひがし保育園

ひがし保育園に通う児童の保護者の現在の満足度のうち「満足」（満足＋やや満足）について、「園の広さ」の割合が 86.0%と最も高く、次いで「教員の質」「友達づくり」がいずれも 84.0%となっています。

その一方で「不満」（不満＋やや不満）については、「バス通園」「自宅からの距離」の割合がいずれも 14.0%と最も高くなっています。

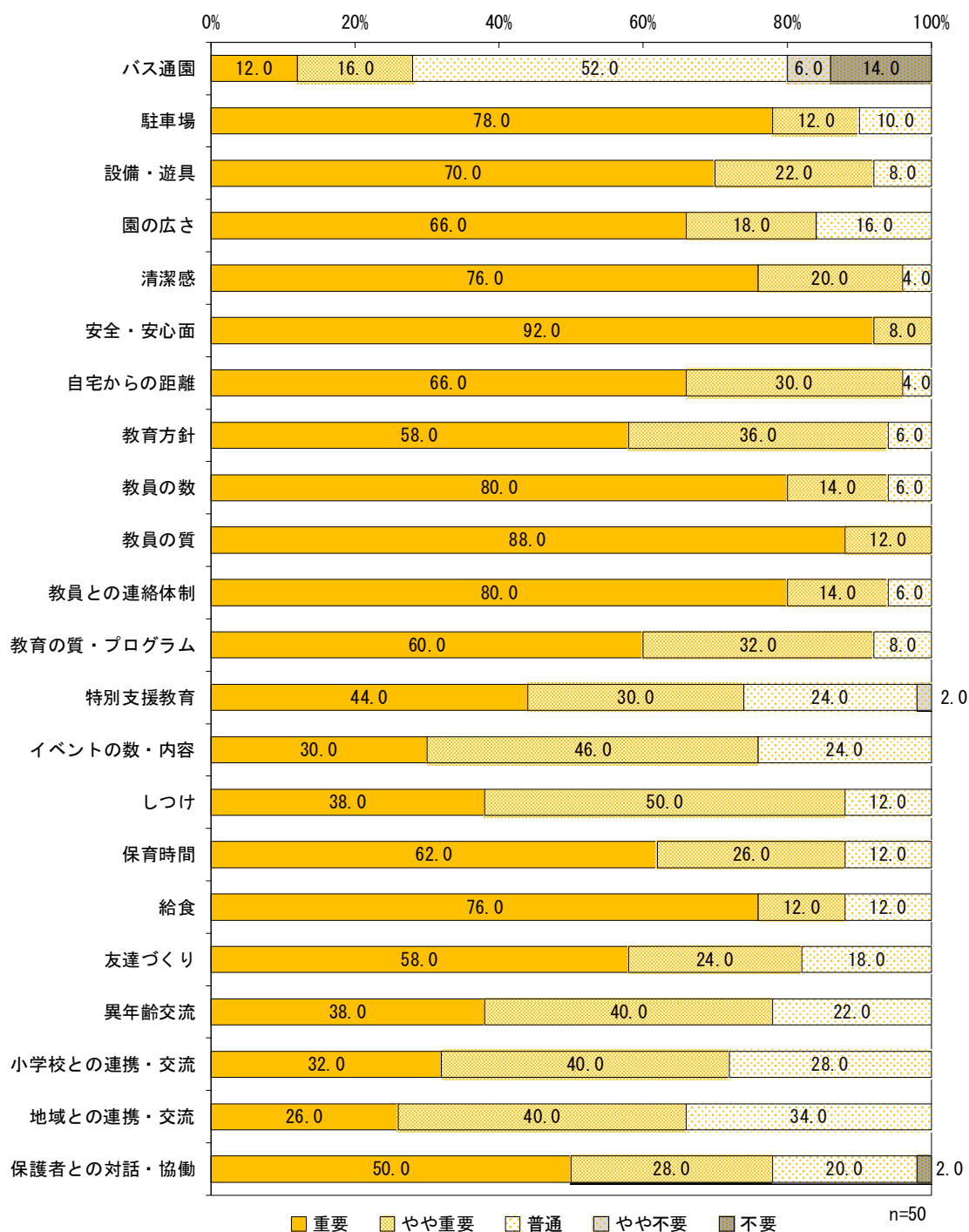
■ 通われている園の満足度【ひがし保育園】



ひがし保育園に通う児童の保護者が考える将来にわたり持続的な運営を行うための重要な項目のうち、「重要」（重要＋やや重要）では「安全・安心面」「教員の質」の割合が、いずれも 100.0%と最も高くなっています。

その一方で「不要」（不要＋やや不要）については、「バス通園」の割合が 20.0%と最も高くなっています。

■ 園の持続的な運営を行うための重要度【ひがし保育園】

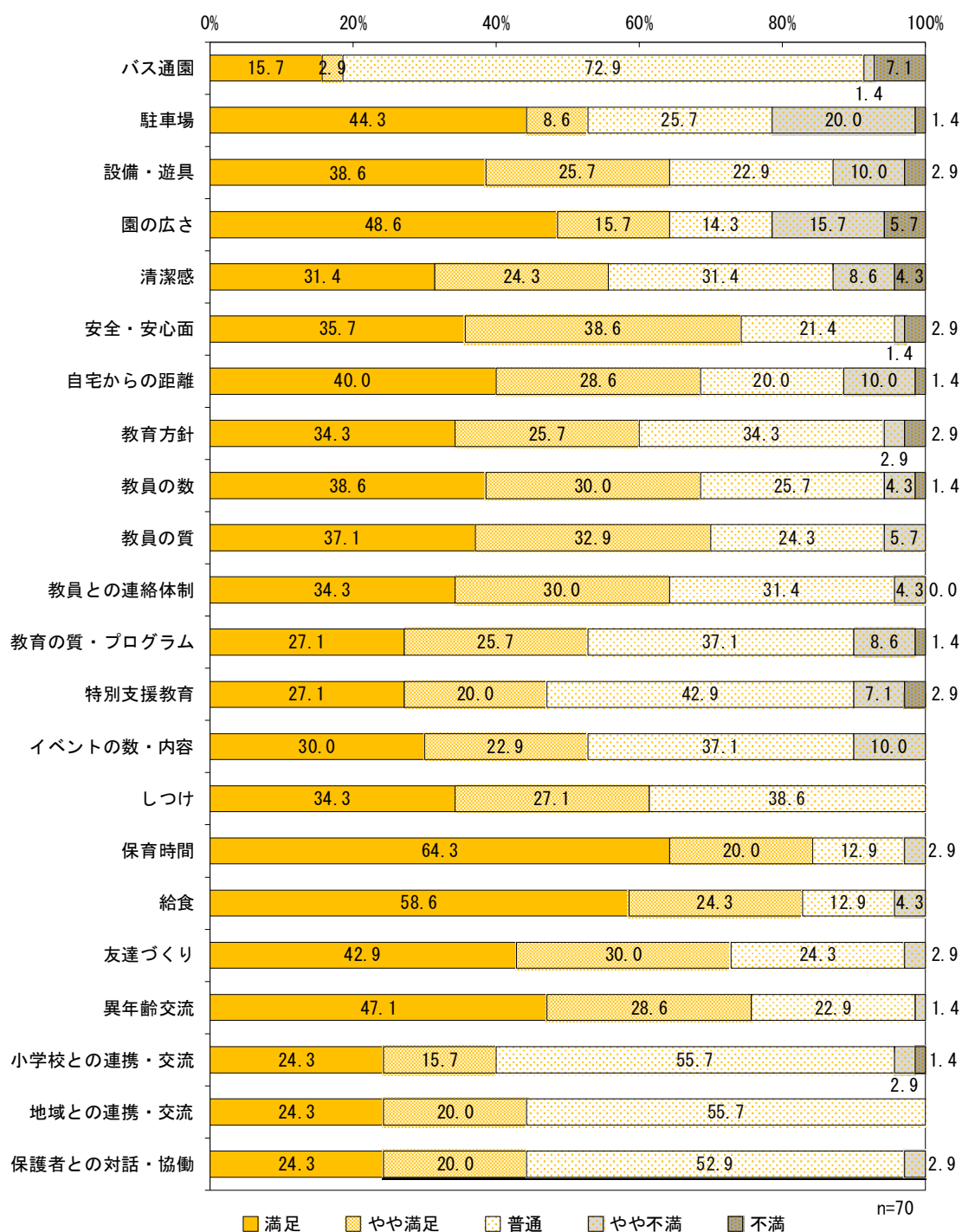


(2) 中保育園

中保育園に通う児童の現在の満足度のうち「満足」（満足＋やや満足）について、「保育時間」の割合が84.3%と最も高く、次いで「給食」が82.9%「異年齢交流」がいずれも75.7%となっています。

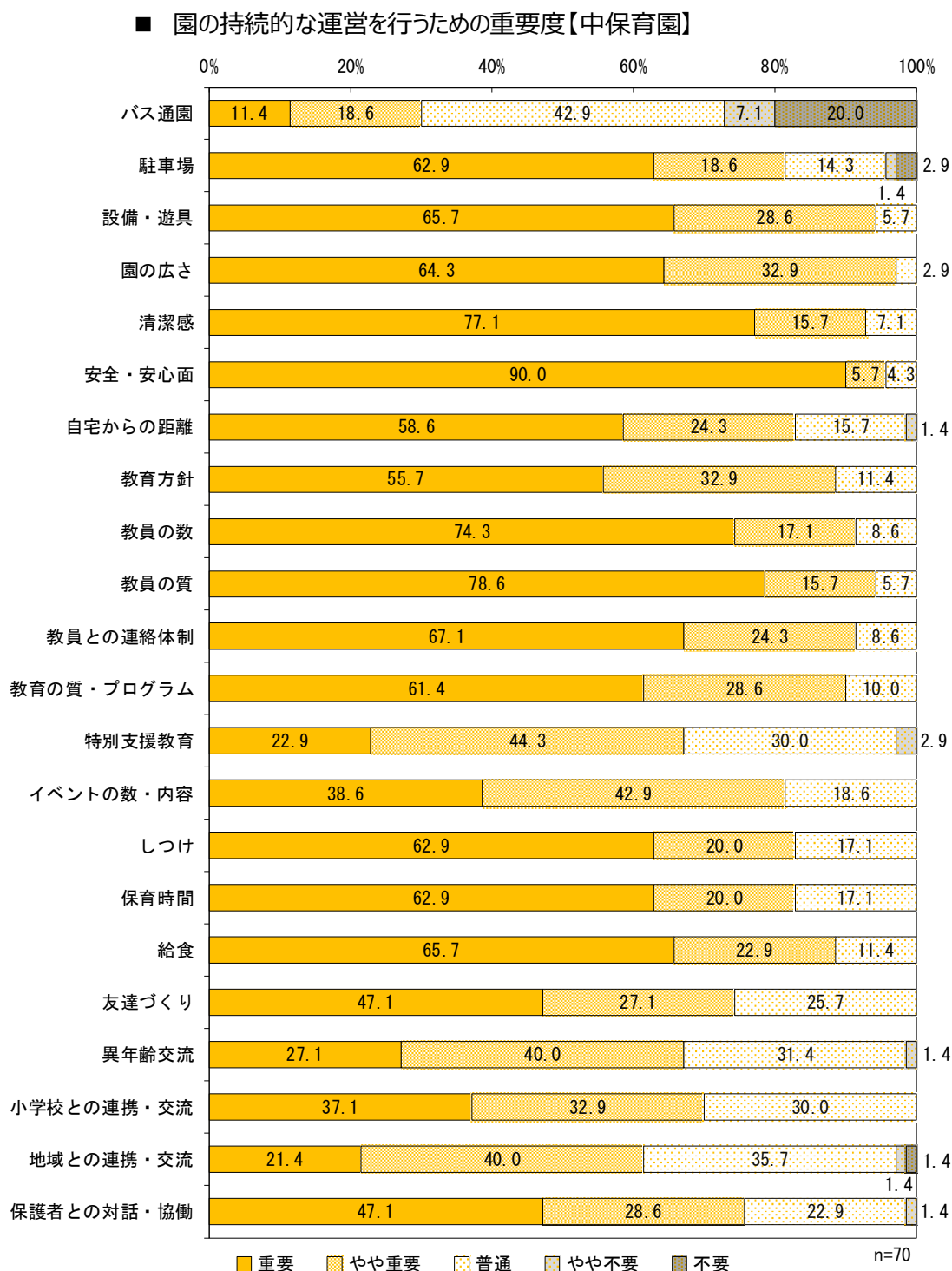
その一方で「不満」（不満＋やや不満）については、「駐車場」「園の広さ」の割合がいずれも21.4%と最も高くなっています。

■ 通われている園の満足度【中保育園】



中保育園に通う児童の保護者が考える将来にわたり持続的な運営を行うための重要度のうち、「重要」では「安全・安心面」の割合が 90.0%と最も高く、「重要」（重要+やや重要）では「園の広さ」の割合が97.1%と最も高くなっています。

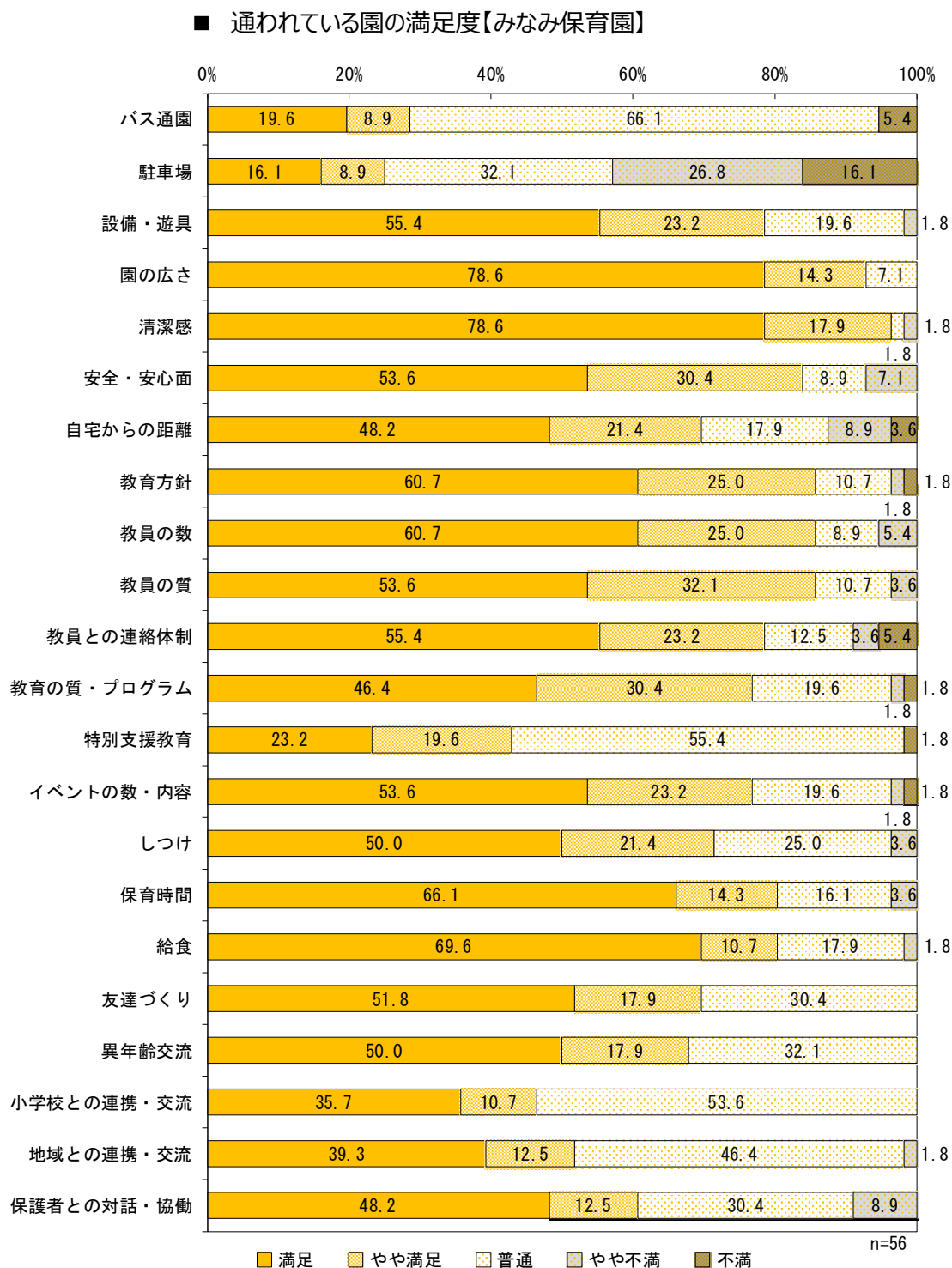
その一方で「不要」（不要+やや不要）については、「バス通園」の割合が 27.1%と最も高くなっています。



(3) みなみ保育園

みなみ保育園に通う児童の保護者の満足度のうち「満足」（満足＋やや満足）について、「清潔感」の割合が96.4%と最も高く、次いで「園の広さ」が92.9%、「教員の質」がいずれも85.7%となっています。

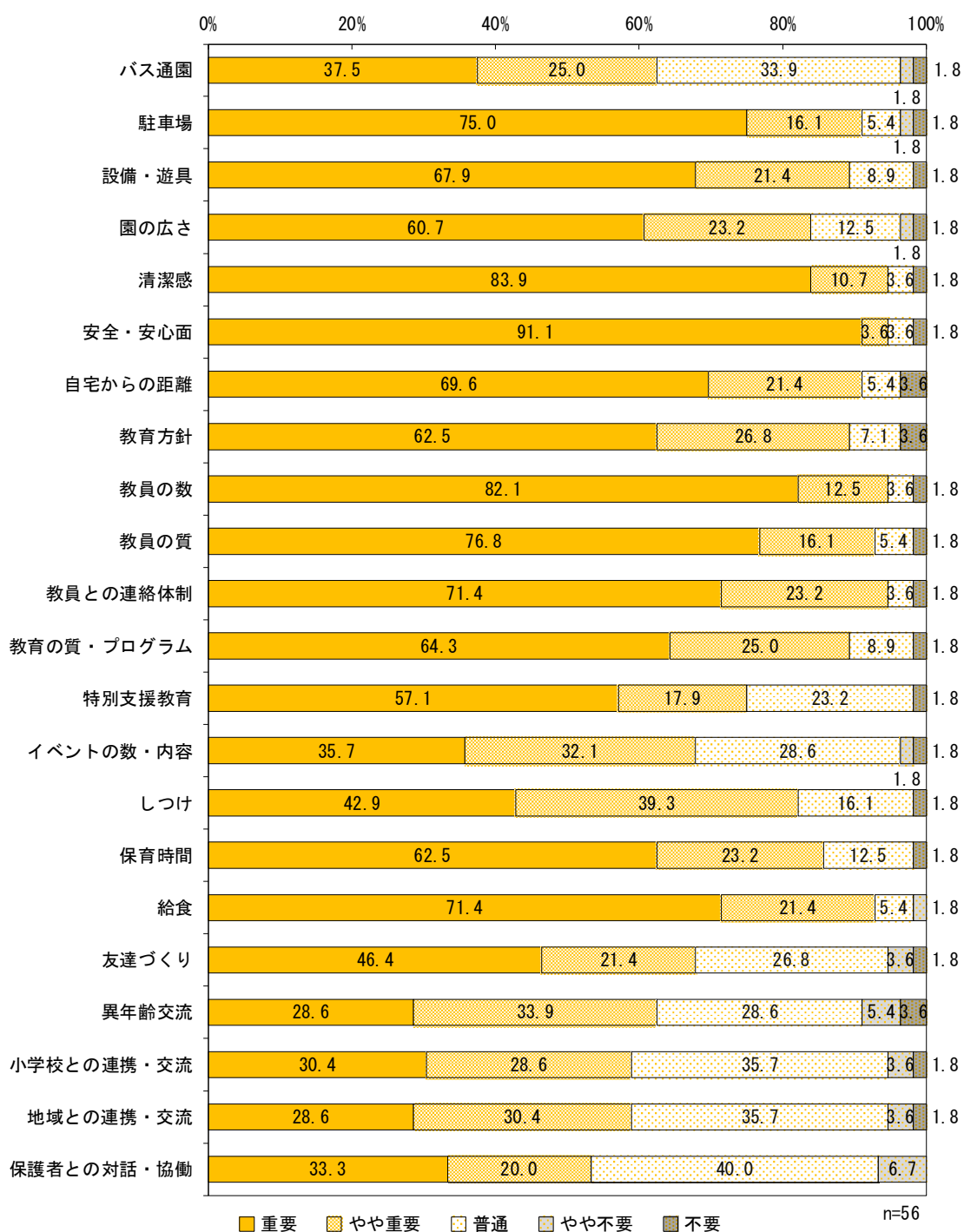
その一方で「不満」（不満＋やや不満）については、「駐車場」の割合が42.9%と最も高く、次いで「自宅からの距離」の割合が12.5%となっています。



みなみ保育園に通う児童の保護者が考える将来にわたり持続的な運営を行うための重要度のうち、「重要」（重要＋やや重要）では「清潔感」「安全・安心面」「教員の数」「教員との連絡体制」の割合が、いずれも 94.6%と最も高くなっています。

その一方で「不要」（不要＋やや不要）については、全ての項目において 1 割未満で、「保護者との対話・協働」の割合が 6.7%と最も高くなっています。

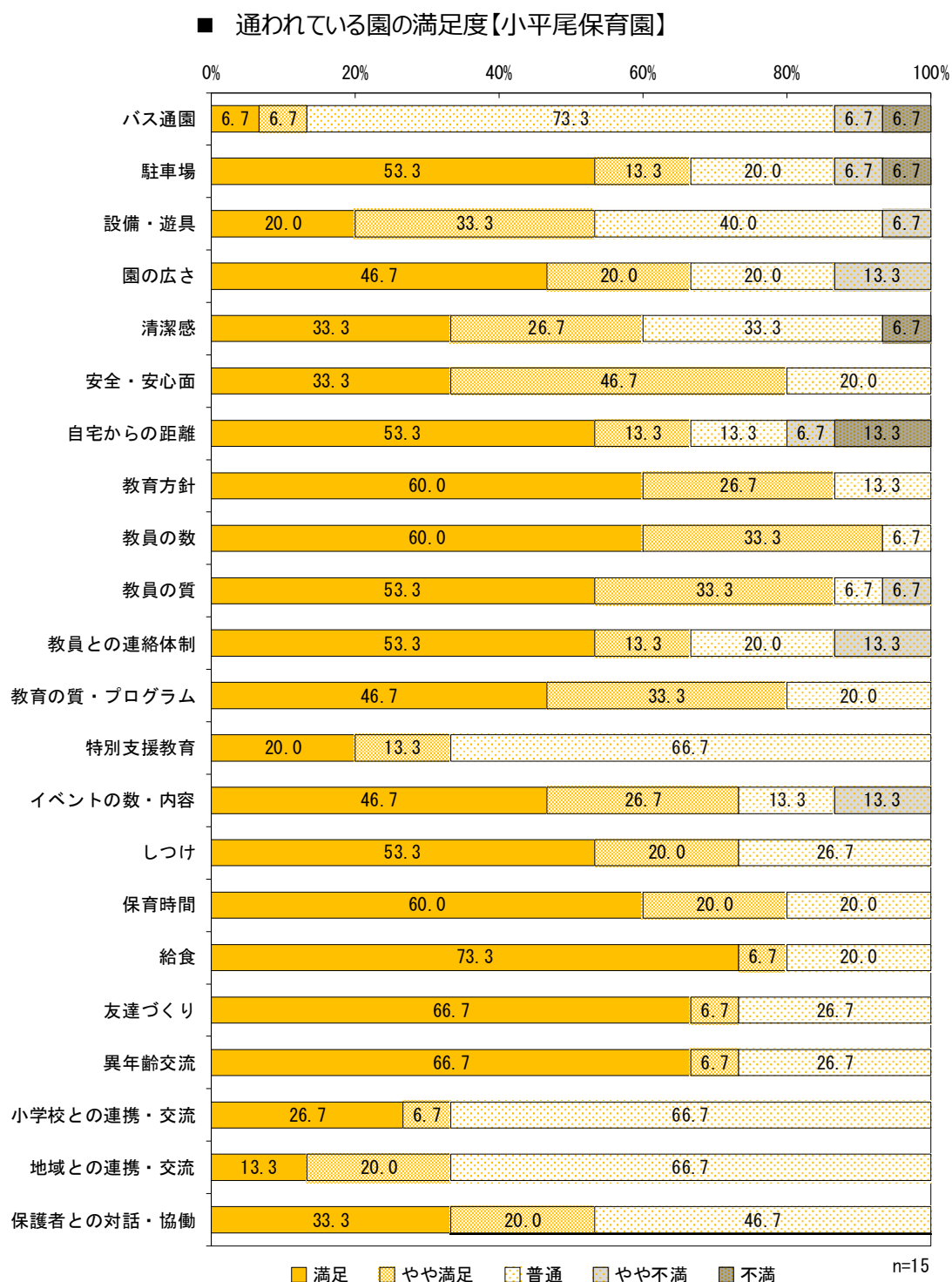
■ 園の持続的な運営を行うための重要度【みなみ保育園】



(4) 小平尾保育園

小平尾保育園に通う児童の保護者の現在の満足度のうち「満足」（満足＋やや満足）について、「教員の数」の割合が93.3%と最も高く、次いで「教育方針」「教員の質」がいずれも86.7%となっています。

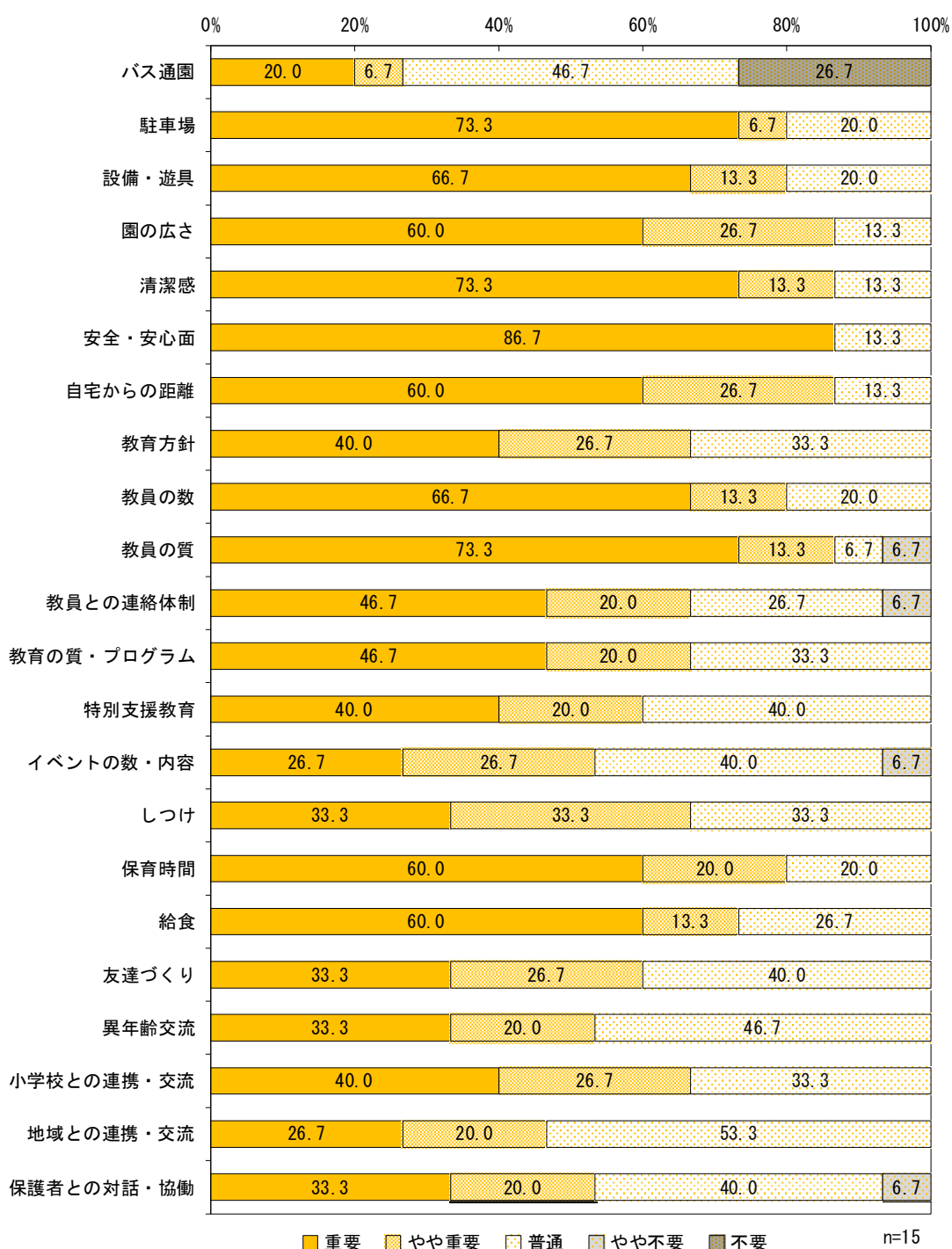
その一方で「不満」（不満＋やや不満）については、「自宅からの距離」の割合が20.0%と最も高くなっています。



小平尾保育園に通う児童の保護者が考える将来にわたり持続的な運営を行うための重要度のうち、「重要」（重要＋やや重要）では「園の広さ」「安全・安心面」「自宅からの距離」「教員の質」の割合が、いずれも 86.7%と最も高くなっています。

その一方で「不要」（不要＋やや不要）については、「バス通園」の割合が 26.7%と最も高くなっています。

■ 園の持続的な運営を行うための重要度【小平尾保育園】



公立幼稚園にあればいいサービス

どのようなサービスがあれば公立幼稚園を利用したいかについて、全体では「預かり保育等により、長時間の教育・保育が受けられる」「お弁当や給食の提供がある」の割合が高く、約 50%となっています。

■ 公立幼稚園にあればいいサービス

	合計	受け入れ開始時間が早い	お弁当や給食の提供がある	預かり保育等により長時間の教育・保育が受けられる	長期休暇期間中の教育・保育が受けられる	駐車場を利用して送迎できる	利用は考えられない	その他
合計	191	15.7	50.3	50.8	32.5	19.9	11.0	1.6
ひがし保育園	50	12.0	54.0	60.0	36.0	14.0	6.0	4.0
中保育園	70	17.1	48.6	58.6	34.3	14.3	11.4	0.0
みなみ保育園	56	17.9	51.8	35.7	30.4	26.8	14.3	0.0
小平尾保育園	15	13.3	40.0	40.0	20.0	40.0	13.3	6.7

※無回答は0人でした。

公立保育園のいいところ

実際に利用されている立場から思う公立保育園のいいところについて、全体では、「受け入れ時間が長い」が 75.4%で最も高く、次いで「適正な規模での教育・保育が受けられる」のが 65.4%、「参観や行事を通して園での様子がよくわかる」が 38.2%の順となっています。

保育園別でみると、ひがし保育園と中保育園では「受け入れ時間が長い」の割合が、みなみ保育園と小平尾保育園では「適正な規模での教育・保育が受けられる」の割合が高くなっています。

■ 公立保育園のいいところ

	合計	適正な規模での教育・保育が受けられる	質の高い教育・保育が受けられる	異年齢の子と交流できる	参観や行事を通して園での様子がよくわかる	地域との交流がある	子育ての相談体制が充実している	受け入れ時間が長い	わからない	その他
合計	191	65.4	22.0	36.6	38.2	9.4	20.9	75.4	4.7	3.7
ひがし保育園	50	64.0	24.0	44.0	50.0	16.0	26.0	82.0	0.0	4.0
中保育園	70	62.9	17.1	25.7	27.1	5.7	24.3	80.0	4.3	2.9
みなみ保育園	56	67.9	26.8	39.3	39.3	8.9	14.3	66.1	8.9	3.6
小平尾保育園	15	73.3	20.0	53.3	46.7	6.7	13.3	66.7	6.7	6.7

※無回答は0人でした。

公立保育園に改善が必要と思うところ

実際に公立保育園を利用されている立場から思う公立保育園に改善が必要と思うところについて、全体では「保護者の日中の保育の状況が変わると、継続して利用できない」の割合が 59.7%と最も高く、次いで「親子イベントや PTA 活動等、保護者の負担が多い」が 24.1%、「家庭の状況により、無償化になる対象に違いがあり不公平に感じる」が 18.8%となっています。

保育園別でも、全ての園において「保護者の日中の保育の状況が変わると、継続して利用できない」の割合が最も高くなっています。

■ 公立保育園の改善が必要と思うところ

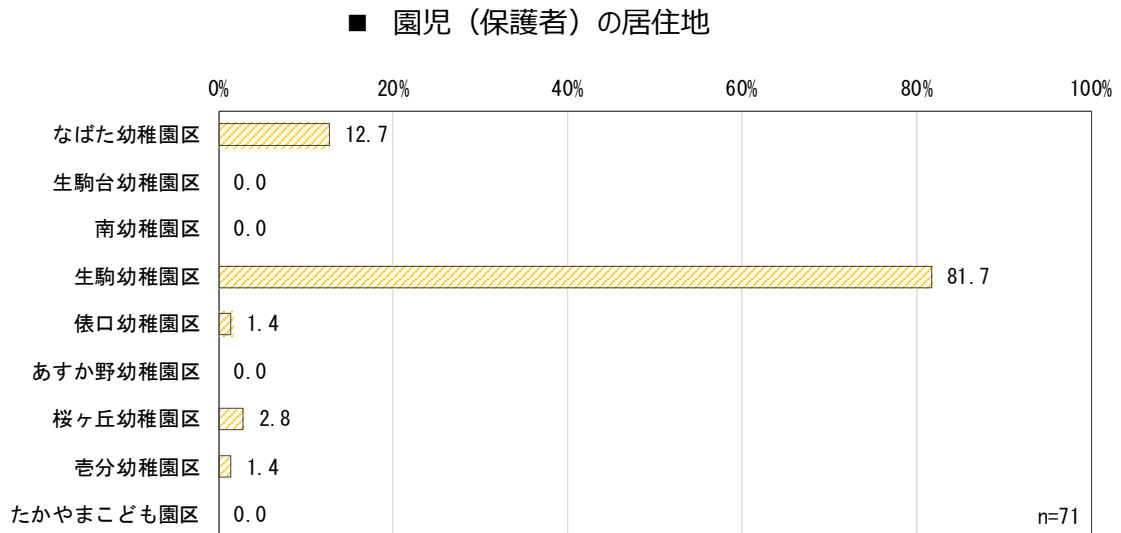
	保護者等 の負担が多い	親子イベントやPTA活動 の負担が多い	家庭の状況により、 無償化になる対象に違いが あり不公平に感じる	子どもが 多く、 慌ただし く感じる	保護者の日中の保育の 状況が変わると、継続し て利用できない	送迎時間がバラバラで 保護者同士の関係が希 薄である	わからない	その他
合計	191	24.1	18.8	0.0	59.7	17.8	15.2	8.4
ひがし保育園	50	10.0	22.0	0.0	74.0	16.0	6.0	14.0
中保育園	70	28.6	12.9	0.0	58.6	18.6	18.6	5.7
みなみ保育園	56	35.7	21.4	0.0	42.9	21.4	19.6	7.1
小平尾保育園	15	6.7	26.7	0.0	80.0	6.7	13.3	6.7

※無回答は0人でした。

3 認定こども園園児保護者向けアンケート調査結果

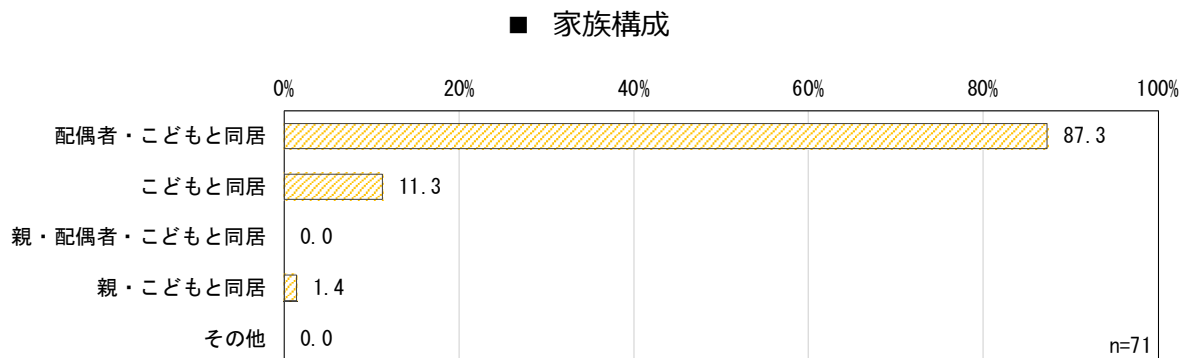
お住まいの地域

お住まいの地域について、「生駒幼稚園区」の割合が 81.7%、通園区域外が 19.3%となっています。通園区域外では「なばた幼稚園区」が最も高く、12.7%となっています。



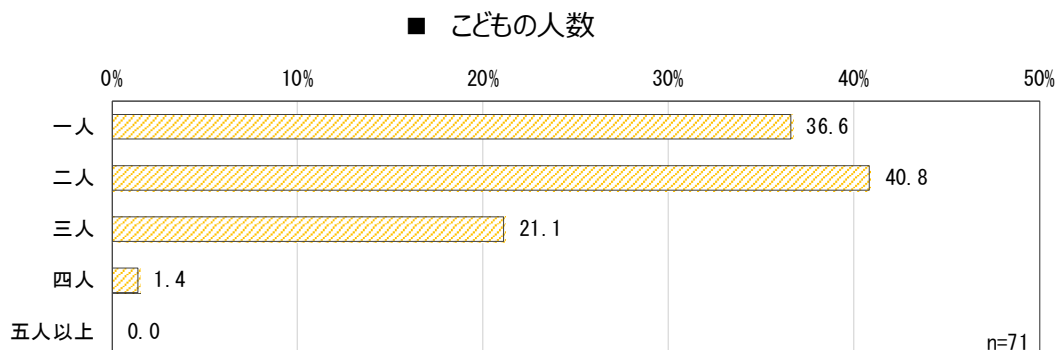
家族構成

家族構成について、「配偶者・子どもと同居」が 87.3%、「子どもと同居」が 11.3%、「親・子どもと同居」が 1.4%となっています。



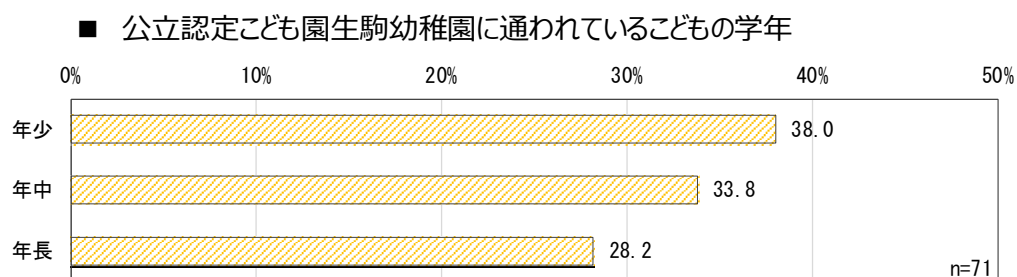
こどもの人数

こどもの人数について、「二人」の割合が 40.3%と最も高く、次いで「一人」の割合が 36.6%、「三人」の割合が 21.1%となっています。



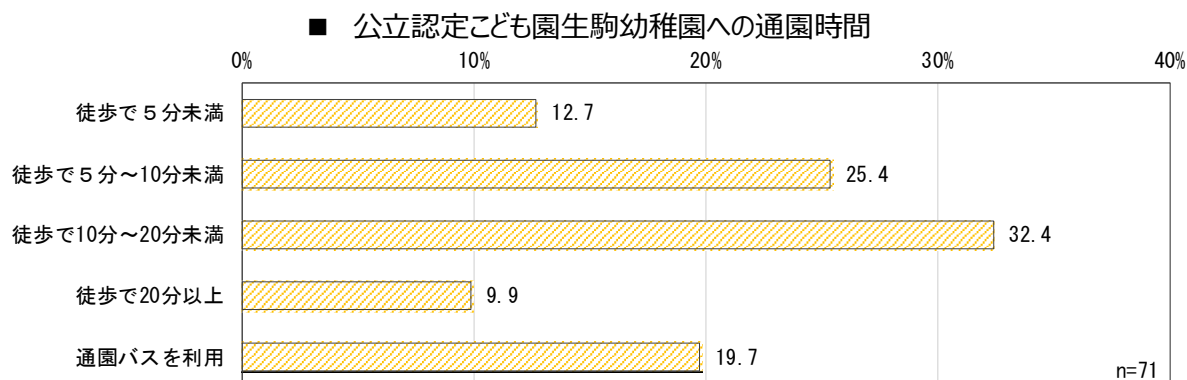
公立認定こども園生駒幼稚園に通うこどもの学年

こどもの学年について、「年少」の割合が 38.0%と最も高く、「年中」の割合が 33.8%、「年長」の割合が 28.2%となっています。



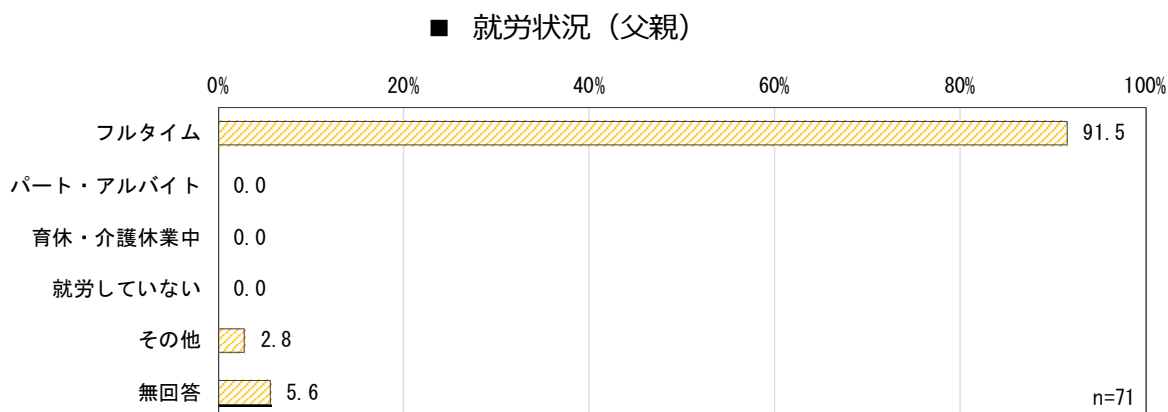
公立認定こども園生駒幼稚園への通園時間

通園時間について、「徒歩で 10～20 分未満」の割合が 32.4%と最も高く、次いで「徒歩で 5 分～10 分未満」の割合が 25.4%、「通園バスを利用」の割合が 19.7%、「徒歩で 5 分未満」の割合が 12.7%、「徒歩で 20 分以上」の割合が 9.9%となっています。

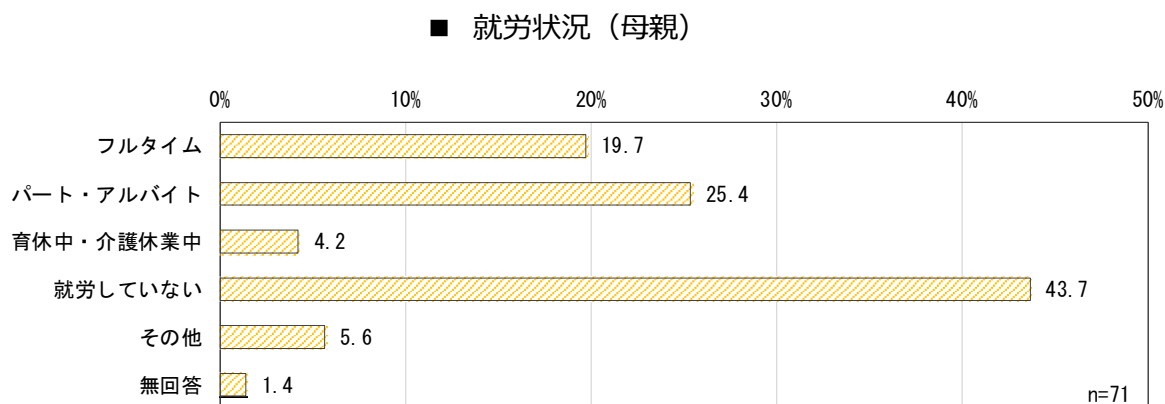


就労状況

父親の就労状況について、「フルタイム」の割合が91.5%、「その他」の割合が2.8%となっています。

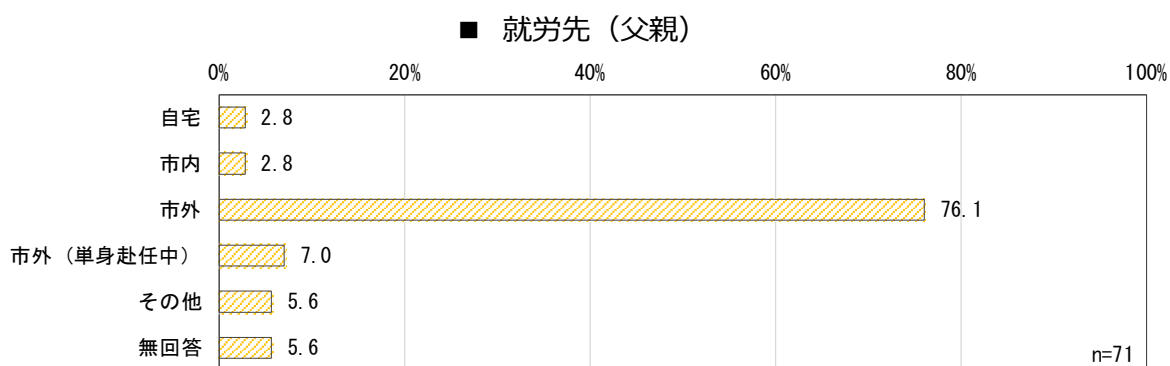


母親の就労状況について、「就労していない」の割合が43.7%と最も高く、次いで「パート・アルバイト」の割合が25.4%、「フルタイム」の割合が19.7%となっています。

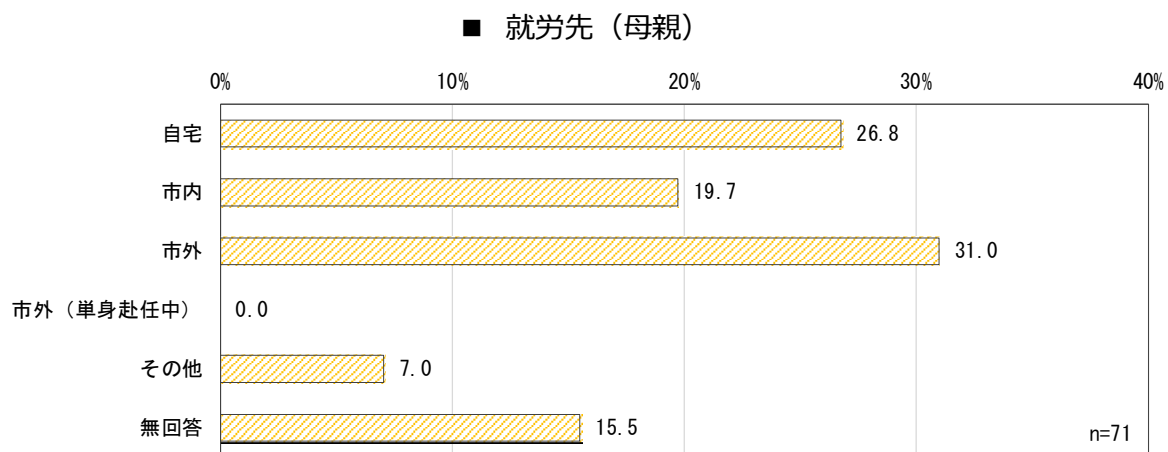


就労先

父親の就労先について、「市外」の割合が76.1%、「市外（単身赴任中）」の割合が7.0%となっており、市外で就労している人が8割以上となっています。

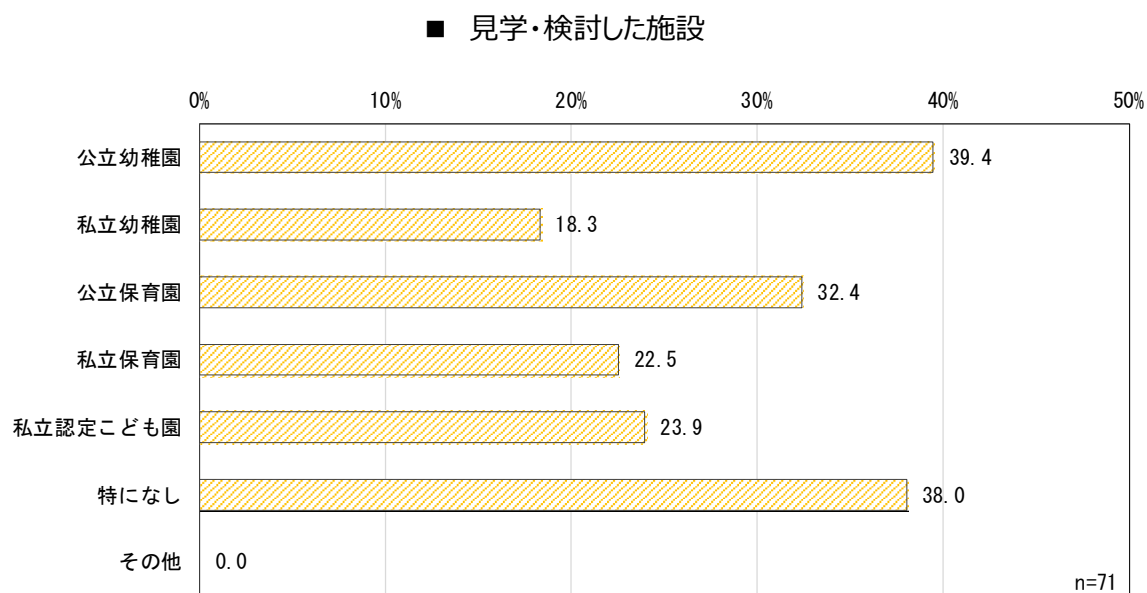


母親の就労先について、「市外」の割合が31.0%と最も高く、次いで「自宅」の割合が26.8%、「市内」割合が19.7%となっています。



入園時に見学・検討した施設 ※認定こども園生駒幼稚園以外

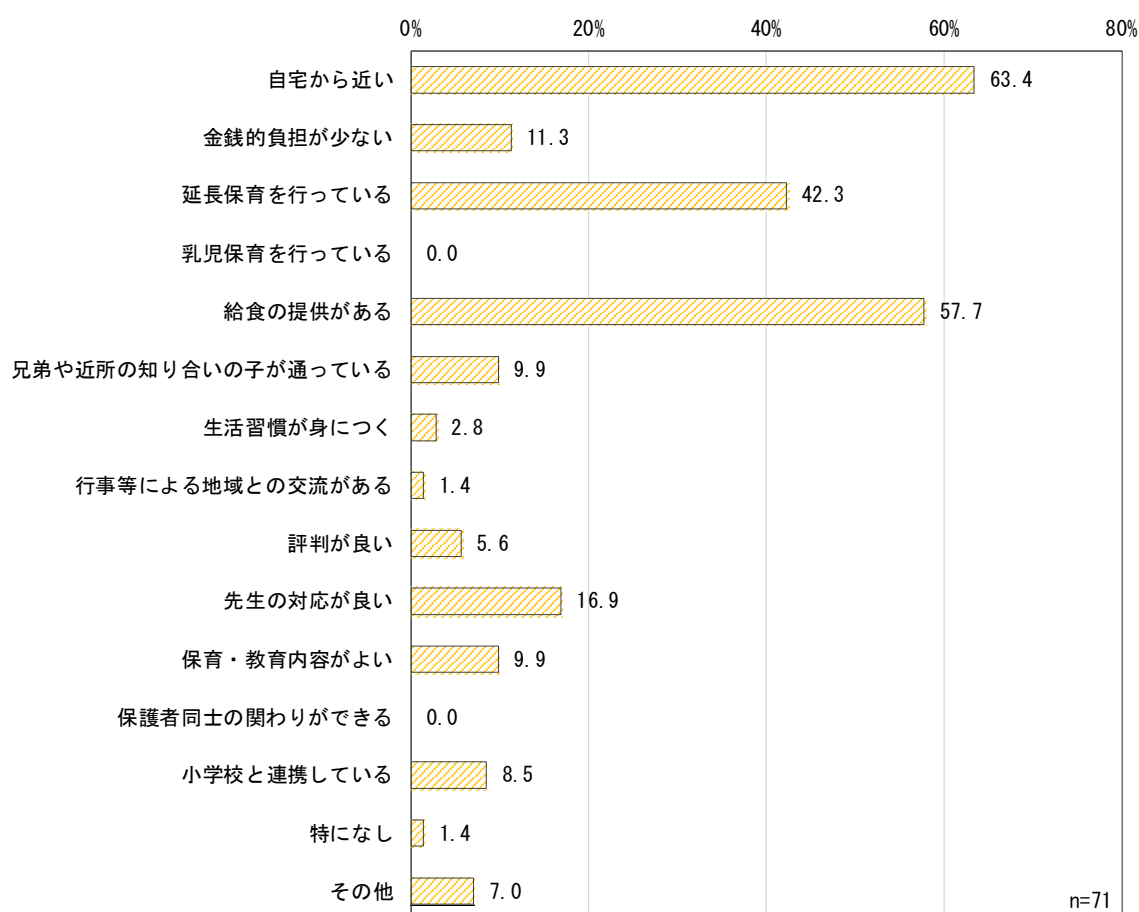
入園時に見学・検討した施設について、「公立幼稚園」の割合が39.4%と最も高く、「特になし」の割合が38.0%、「公立保育園」の割合が32.4%となっています。



公立認定こども園生駒幼稚園を選んだ主な理由

公立認定こども園生駒幼稚園を選ぶ際に重視した点について、「自宅から近い」の割合が 63.4%と最も高く、次いで「給食の提供がある」の割合が 57.7%、「延長保育を行っている」の割合が 42.3%となっています。

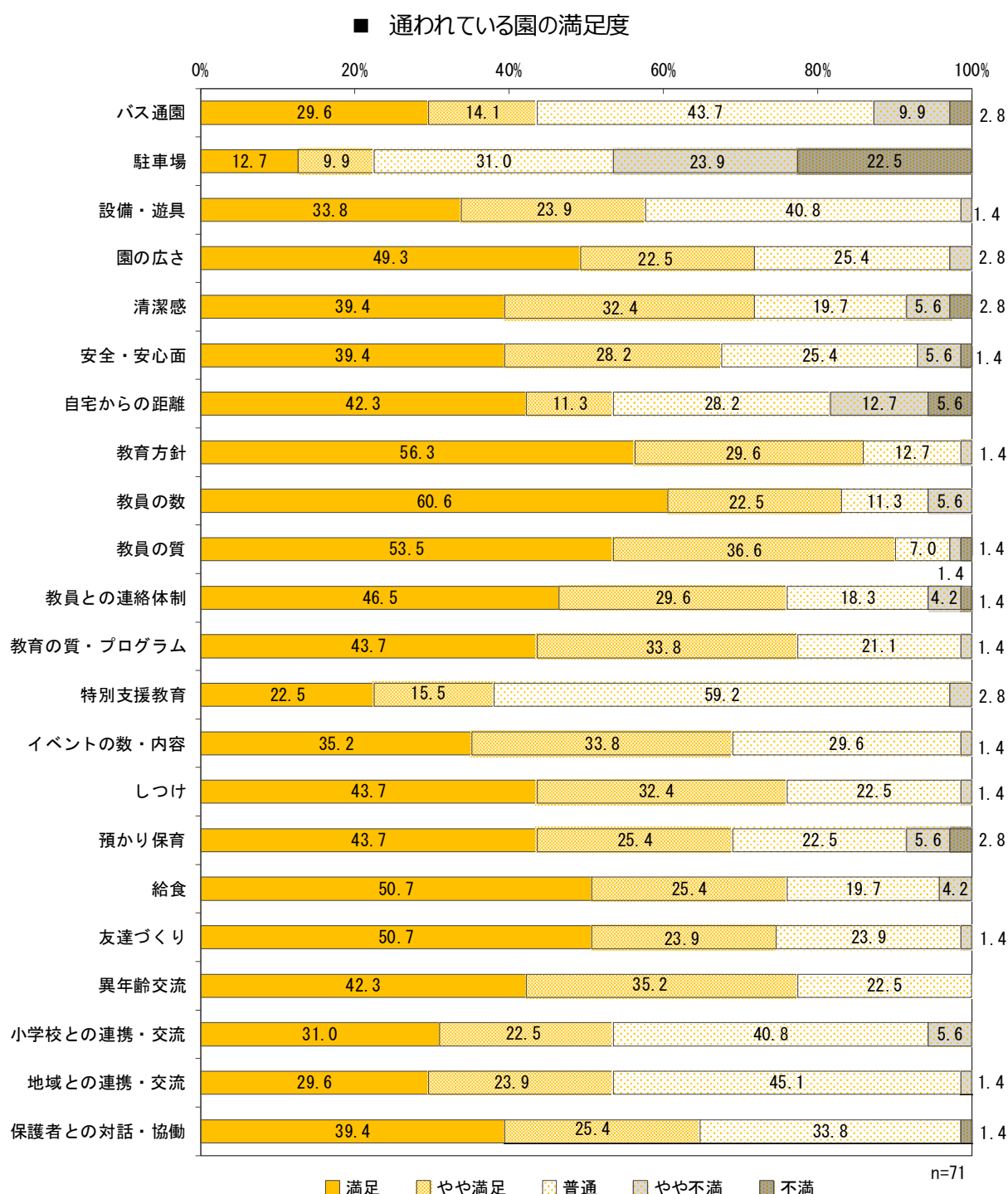
■ 公立認定こども園生駒幼稚園を選んだ理由で重視した点



こどもが通う園の現在の満足度

通われている園の現在の満足度のうち「満足」（満足＋やや満足）について、「教員の質」が90.1%と最も高く、次いで「教育方針」が85.9%、「教員の数」が83.1%の順となっています。

その一方で「不満」（不満＋やや不満）については、「駐車場」が46.4%と最も高く、次いで「自宅からの距離」が18.3%、「バス通園」が12.7%となっています。

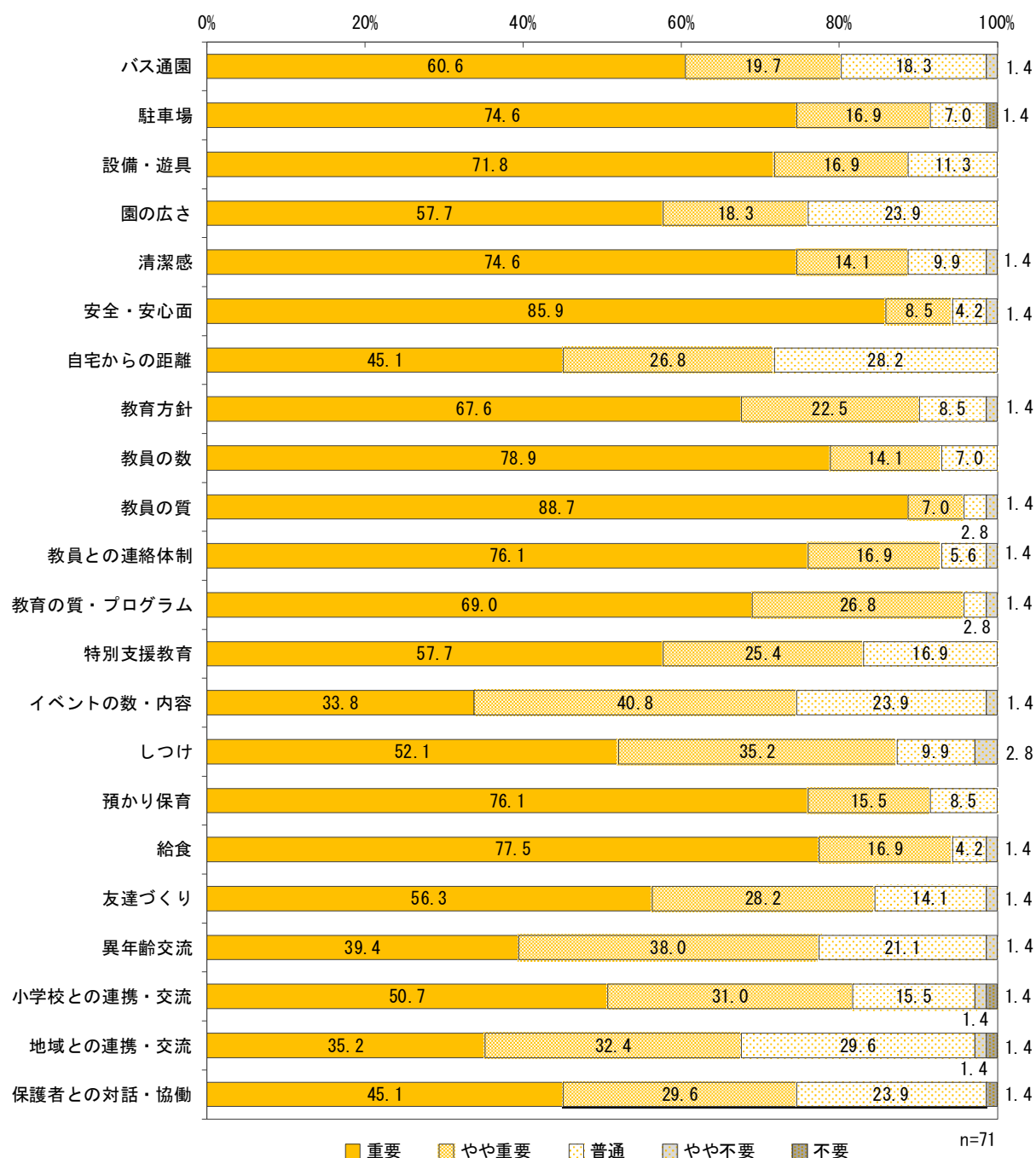


将来の持続的な運営を行うための重要度

公立認定こども園生駒幼稚園に通う児童の保護者が考える将来の持続的な運営を行うための重要度のうち「重要」（重要+やや重要）について、「教員の質・プログラム」「教育の質」がいずれも 95.8%と最も高く、次いで「安全・安心面」「給食」共に 94.4%となっています。

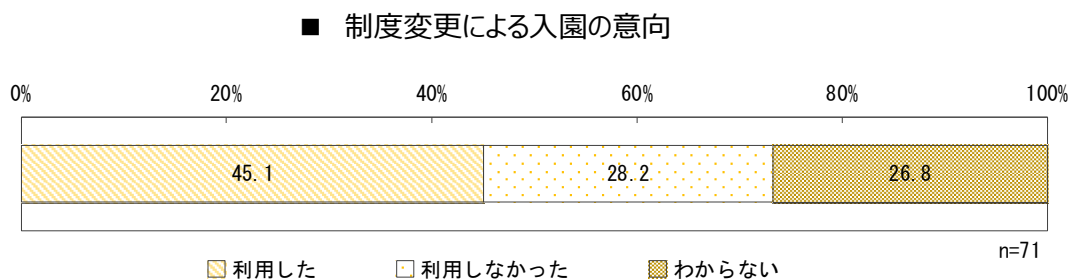
その一方で「不要」（不要+やや不要）については、いずれも 1 割に達しておらず、「しつけ」「小学校との連携・交流」「地域との連携・交流」が共に 2.8%となっています。

■ 公立認定こども園生駒幼稚園の持続的な運営を行うための重要度



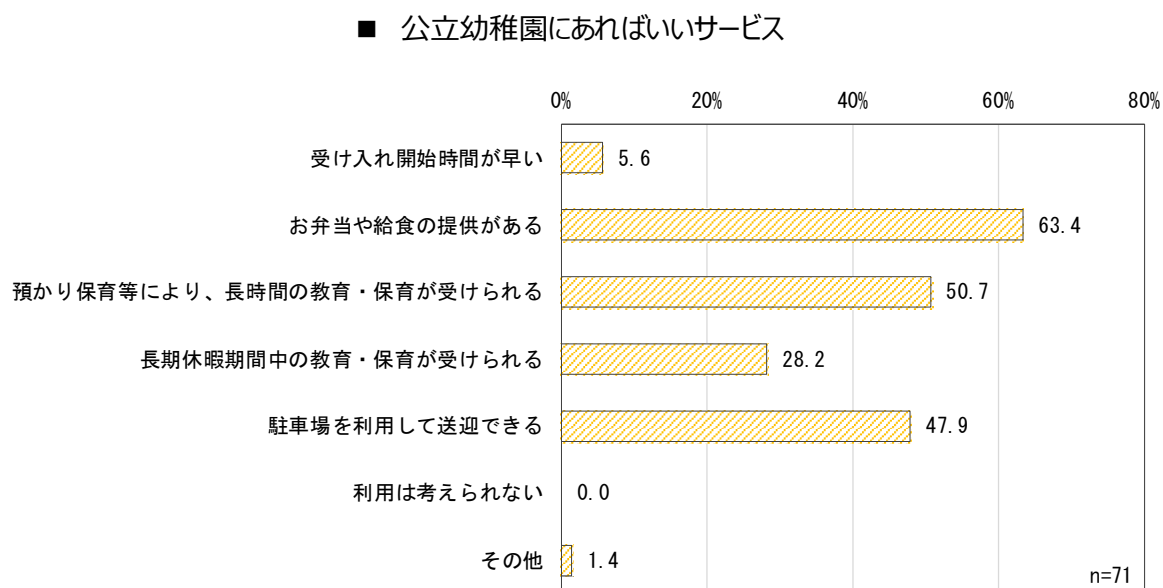
満3歳の翌月から入園ができる制度の利用意向

満3歳になった翌月から入園ができる制度があった場合の利用状況について、「利用した」の割合が45.1%、「利用しなかった」の割合が28.2%、「わからない」が26.8%となっています。



公立幼稚園にあればいいサービス

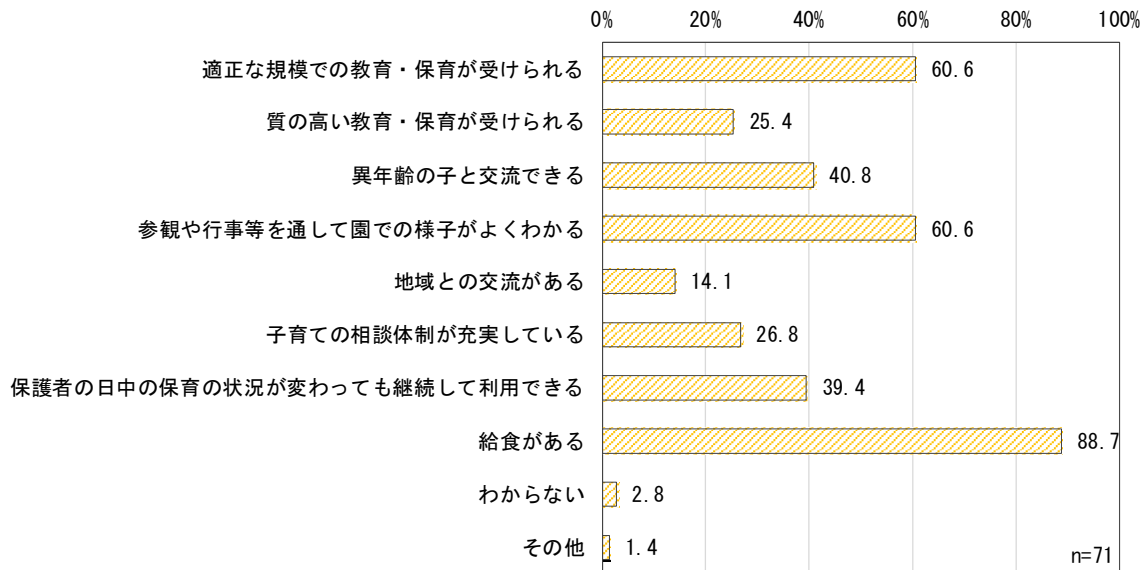
どのようなサービスがあれば公立幼稚園を利用したいと思うかについて、「お弁当や給食の提供がある」の割合が63.4%と最も高く、次いで「預かり保育等により、長時間の教育・保育が受けられる」の割合が50.7%、「駐車場を利用して送迎できる」の割合が47.9%となっています。



公立認定こども園生駒幼稚園のいいところ

公立認定こども園生駒幼稚園のいいところについて、「給食がある」の割合が 88.7%と最も高く、次いで「適正な規模での教育・保育が受けられる」「参観や行事等を通して園での様子がよくわかる」の割合が同率で 60.6%となっています。

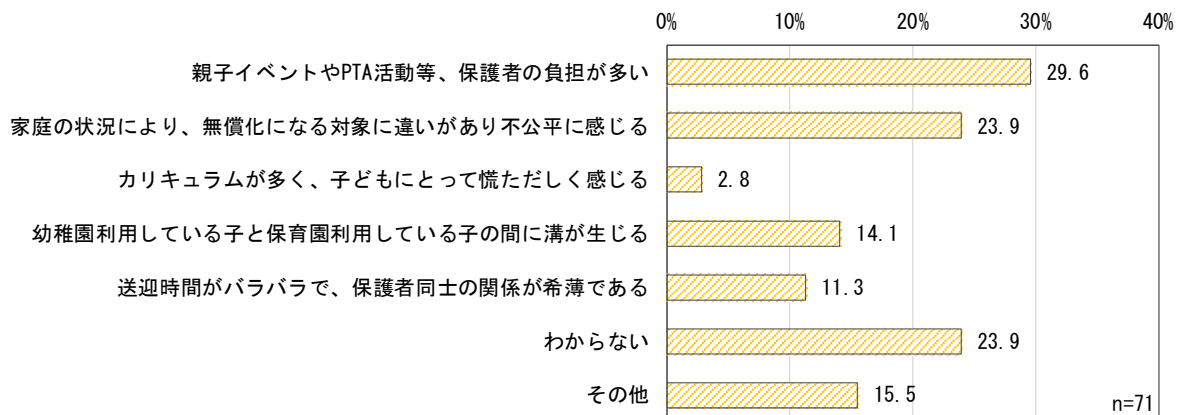
■ 公立認定こども園生駒幼稚園のいいところ



公立認定こども園生駒幼稚園の改善が必要と思うところ

公立認定こども園生駒幼稚園の改善が必要と思うところについて、「親子イベントや PTA 活動等、保護者の負担が多い」の割合が 29.6%と最も高く、次いで「家庭の状況により、無償化になる対象に違いがあり不公平に感じる」の割合と「わからない」の割合が 23.9%となっています。

■ 公立認定こども園生駒幼稚園の改善が必要と思うところ

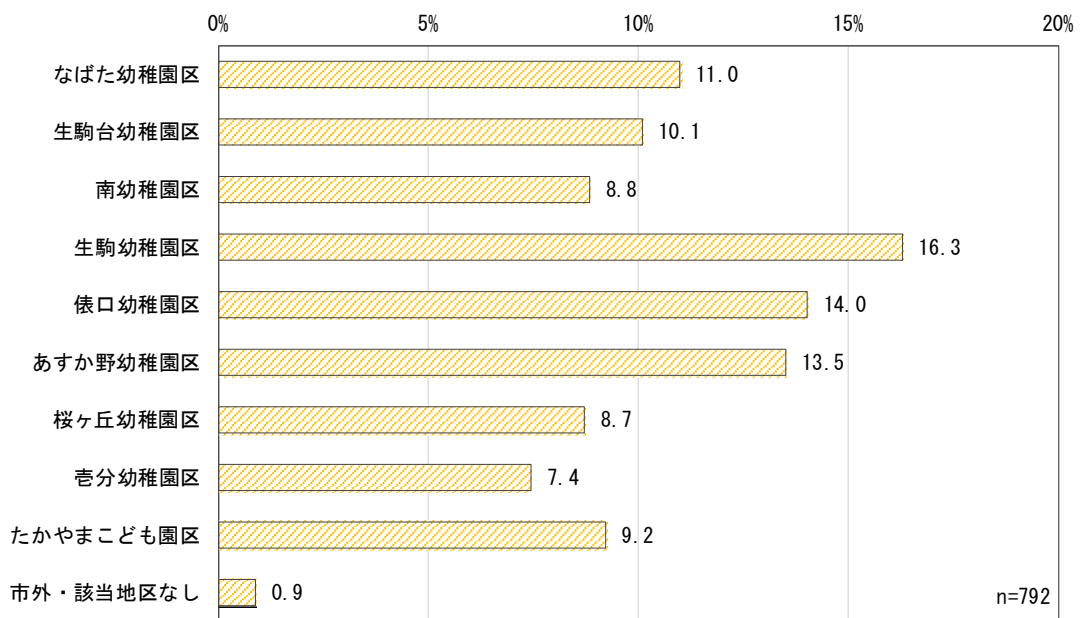


4 0～2歳児をもつ保護者向けアンケート調査結果

お住まいの地域

お住まいの地域について、「生駒幼稚園区」の割合が 16.3%と最も高く、次いで「俵口幼稚園区」の割合が 14.0%、「あすか野幼稚園区」の割合が 13.5%となっています。

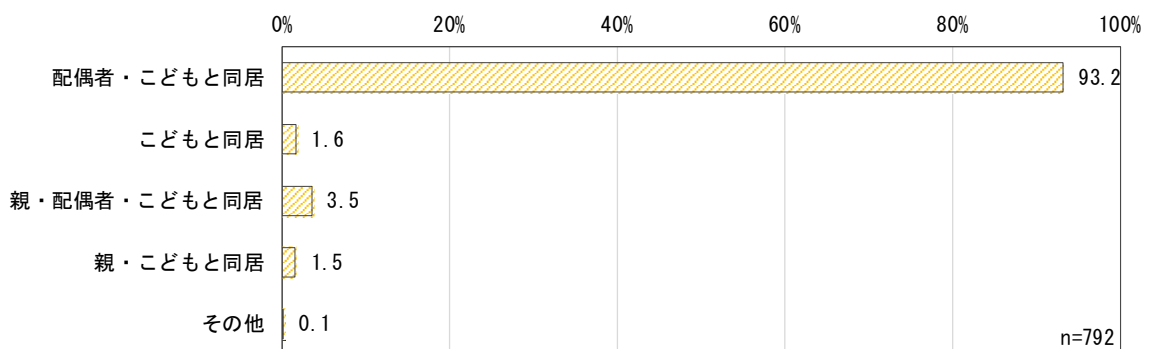
■ こども（保護者）の居住地



家族構成

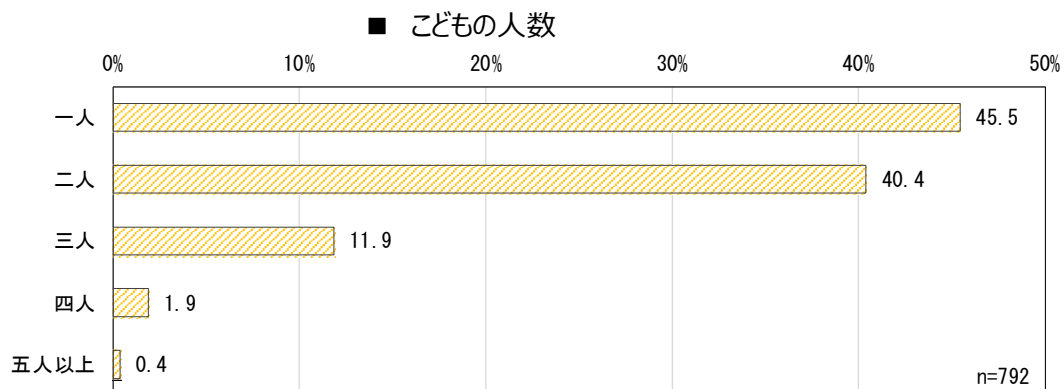
家族構成について、「配偶者・子どもと同居」の割合が 93.2%、次いで「親・配偶者・子どもと同居」の割合が 3.5%、「子どもと同居」の割合が 1.6%となっています。

■ 家族構成



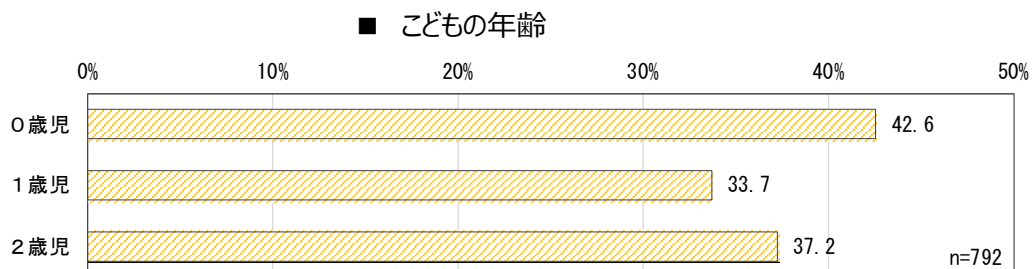
こどもの人数

こどもの人数について、「一人」の割合が 45.5%と最も高く、「二人」の割合が 40.4%、「三人」の割合が 11.9%、「四人」の割合が 1.9%、「五人以上」の割合が 0.4%となっています。



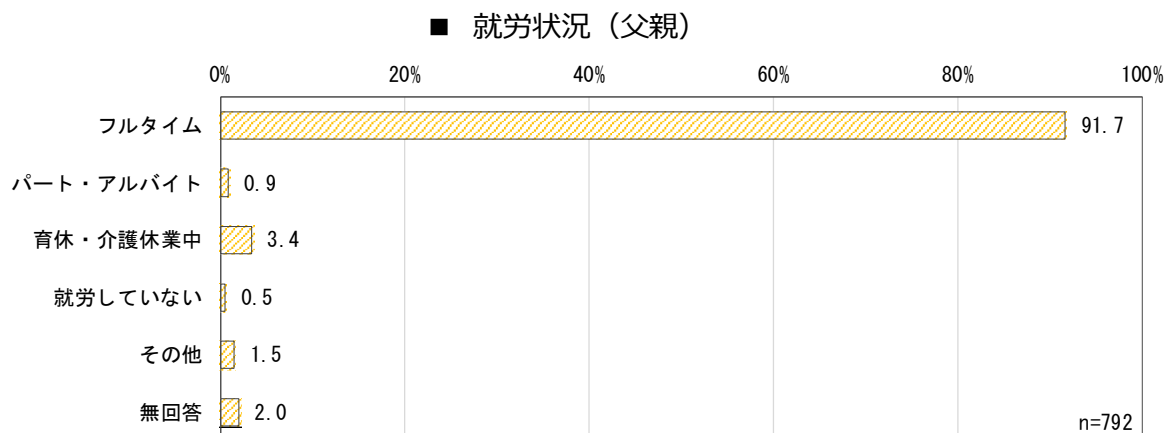
こどもの年齢

こどもの年齢について、「0歳児」の割合が 42.6%、「1歳児」の割合が 33.7%、「2歳児」の割合が 37.2%となっています。

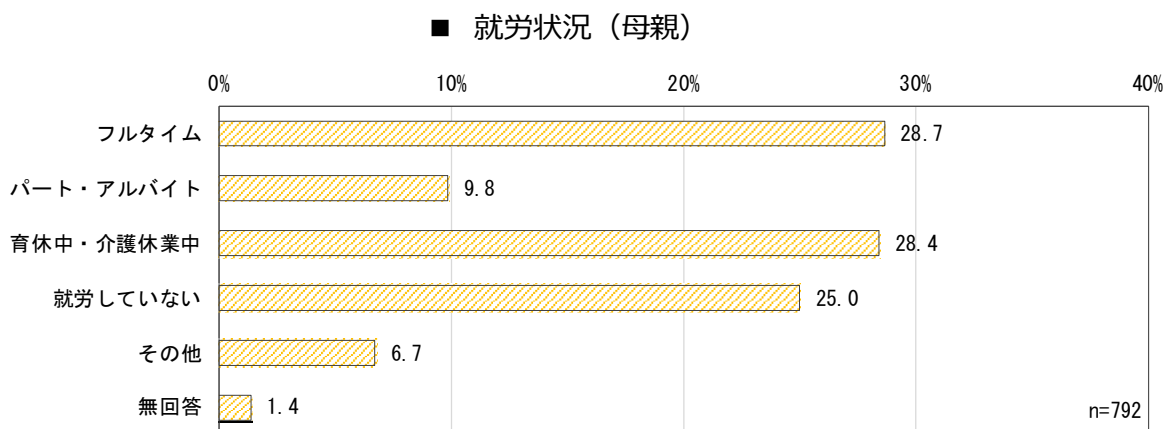


就労状況

父親の就労状況について、「フルタイム」の割合が 91.7%と最も高く、「育休・介護休業中」の割合が 3.4%、「その他」の割合が 1.5%となっています。

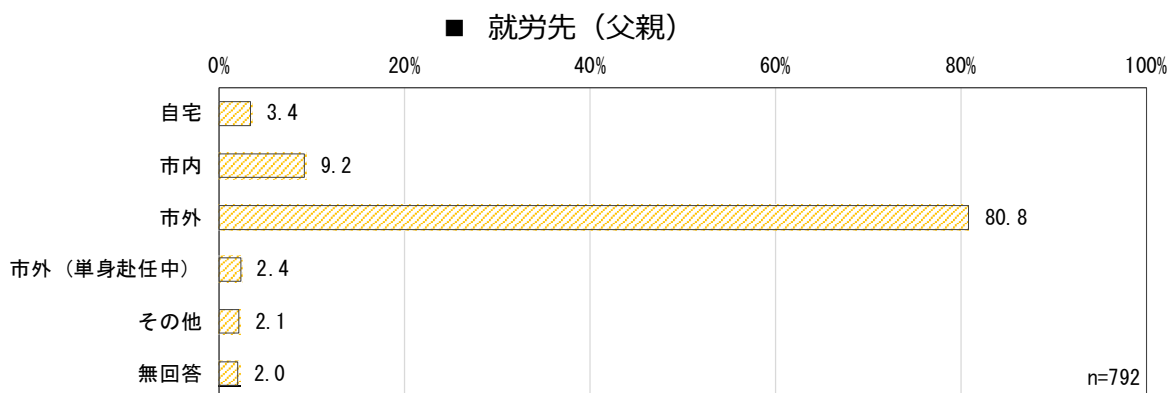


母親の就労状況について、「フルタイム」の割合が 28.7%と最も高く、「育休・介護休業中」の割合が 28.4%、「就労していない」の割合が 25.0%となっています。

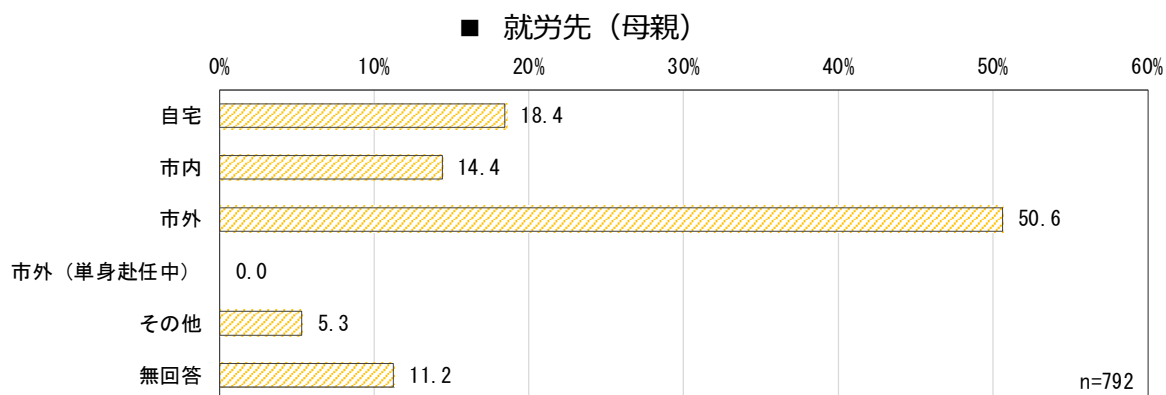


就労先

父親の就労先について、「市外」の割合が 76.1%、「市外（単身赴任中）」の割合が 7.0%となっており、市外で就労している人が8割以上となっています。

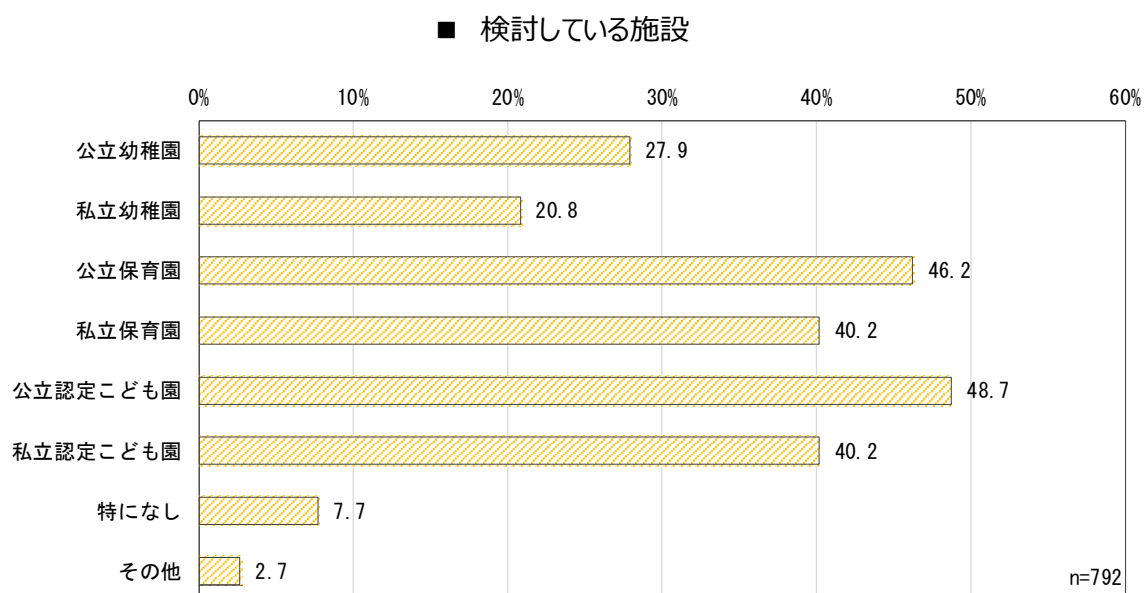


母親の就労先について、「市外」の割合が 31.0%と最も高く、次いで「自宅」の割合が 26.8%、「市内」割合が 19.7%となっています。



検討している施設

検討している施設について、「公立認定こども園」の割合が48.7%と最も高く、次いで「公立保育園」の割合が46.2%、「私立保育園」「私立認定こども園」の割合が共に40.2%の順となっています。

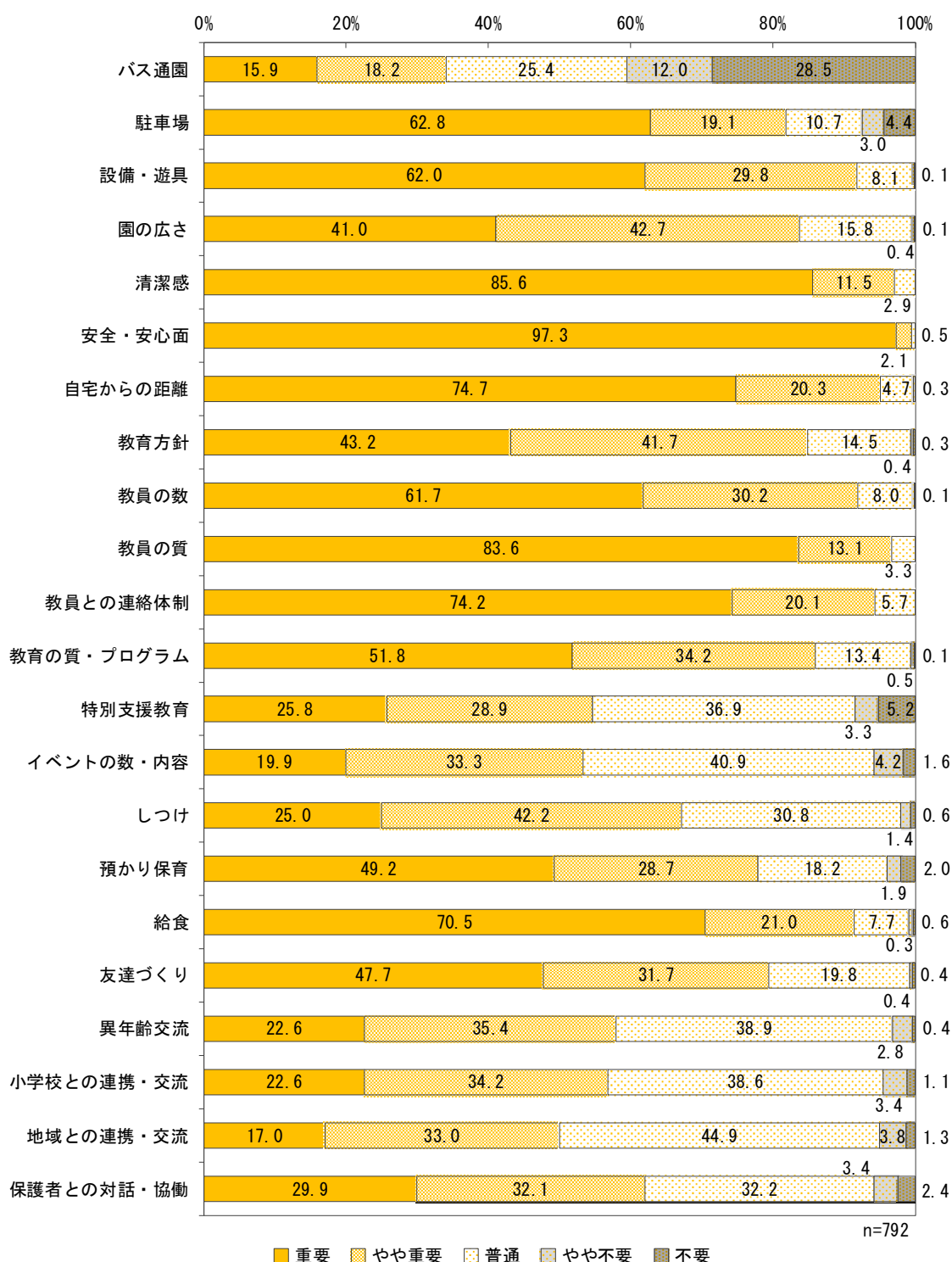


入園を検討する際の重要度

入園を検討する際の重要度のうち「重要」（重要＋やや重要）について、「安全・安心面」が99.5%と最も高く、次いで「清潔感」が97.1%、「教員の質」が96.7%となっています。

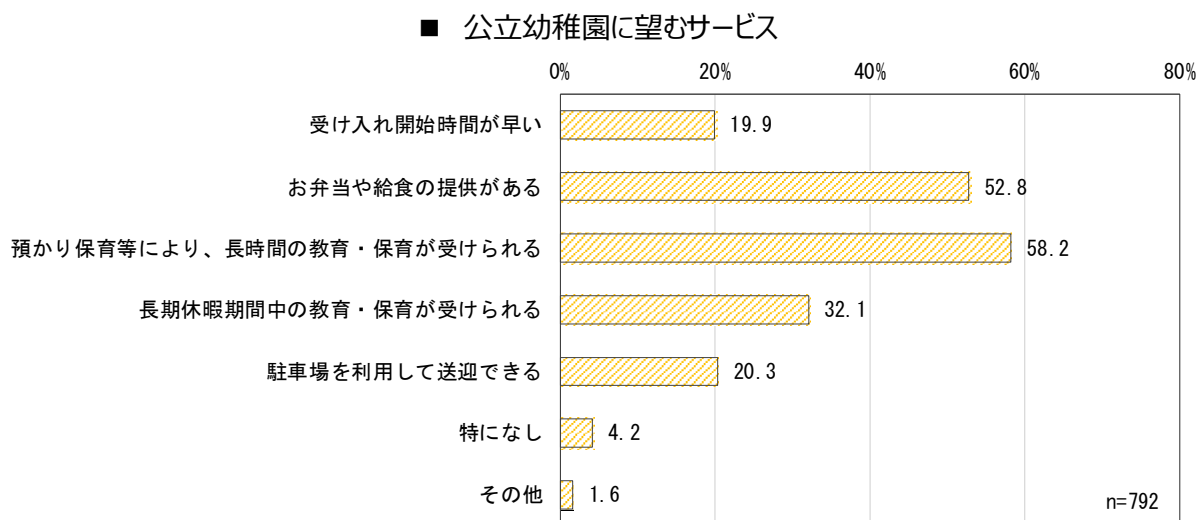
その一方で「不要」（不要＋やや不要）については、「バス通園」40.5%が最も高く、それ以外は1割以下になっています。

■ 入園を検討する際の重要度



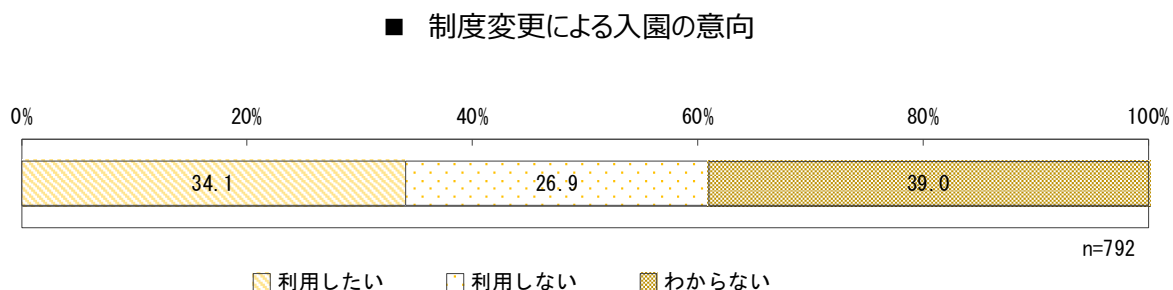
どのようなサービスがあれば公立幼稚園を利用したいか

どのようなサービスがあれば公立幼稚園を利用したいと思うかについて、「預かり保育等により、長時間の教育・保育が受けられる」の割合が 56.2%と最も高く、次いで「お弁当や給食の提供がある」の割合が 52.8%、「長期休暇期間中の教育・保育が受けられる」の割合が 32.1%となっています。



満3歳の翌月から入園ができる制度の利用意向

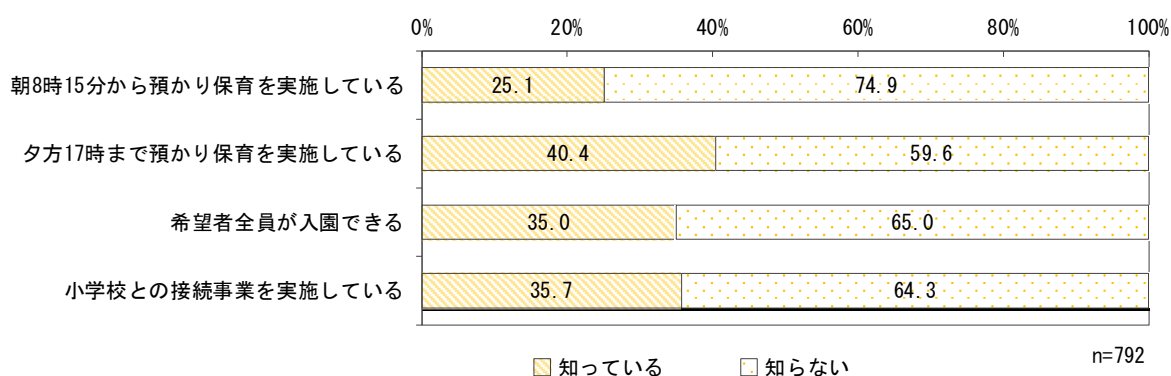
満3歳になった翌月から入園ができる制度があった場合について、「利用したい」の割合が 34.1%、「利用しない」の割合が 26.9%、「わからない」が 39.0%となっています。



各取組や特徴の認知度

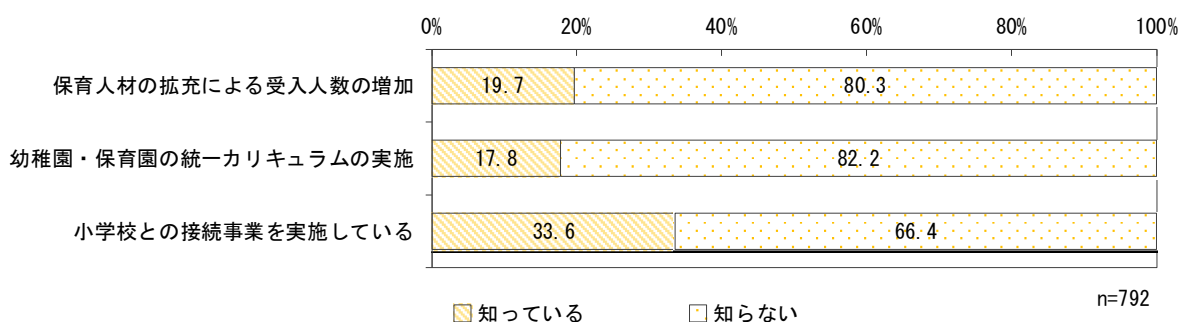
公立幼稚園の取組や特徴の認知度について、「朝 8 時 15 分から預かり保育を実施している」を「知っている」の割合が 25.1%、「夕方 17 時まで預かり保育を実施している」を「知っている」の割合が 25.1%、「希望者全員が入園できる」を「知っている」の割合が 35.0%、「小学校との継続事業を実施している」を「知っている」の割合が 35.7%となっていて、どの項目も「知っている」の割合が「知らない」の割合を下回っています。

■ 各取組や特徴の認知度（公立幼稚園）



公立保育園の取組や特徴の認知度について、「保育人材の拡充による受入人数の増加」を「知っている」の割合が 19.7%、「幼稚園・保育園の統一カリキュラムの実施」を「知っている」の割合が 25.1%、「小学校との継続事業を実施している」を「知っている」の割合が 33.6%で、どの項目も「知っている」の割合が「知らない」の割合を下回っています。

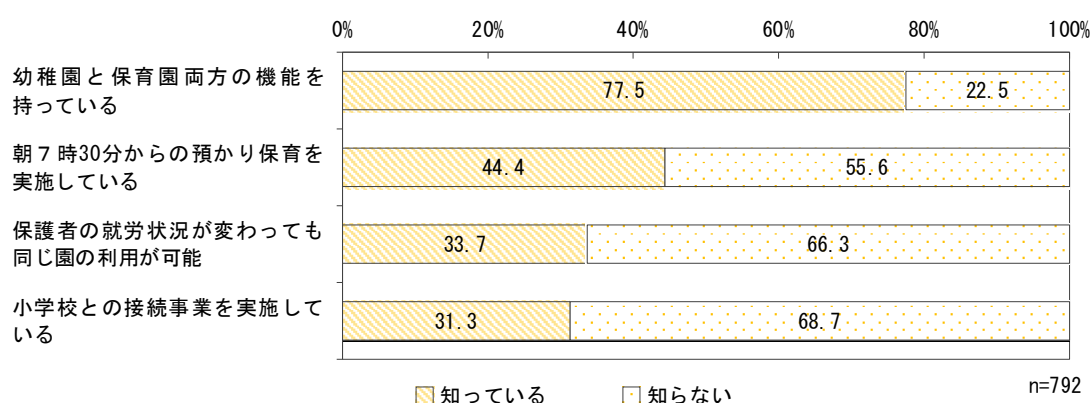
■ 各取組や特徴の認知度（公立保育園）



公立認定こども園生駒幼稚園の取組や特徴の認知度について、「幼稚園と保育園両方の機能を持っている」を「知っている」の割合が77.5%と認知度が高くなっています。

一方で「朝7時30分からの預かり保育を実施している」を「知っている」の割合が44.4%、「保護者の就労状況が変わっても同じ園の利用が可能」を「知っている」の割合が33.7%、「小学校との継続事業を実施している」を「知っている」の割合が31.3%となっていて、「知っている」の割合が「知らない」の割合を下回っています。

■ 各取組や特徴の認知度（公立認定こども園生駒幼稚園）



保育コンシェルジュの認知度

「保育コンシェルジュ」を配置していることを知っているかについて、「知っている」の割合が67.6%となっています。

